



島根県立大学 松江キャンパス発

令和5年度

地域研究と 教育

vol.
12



「地域研究と教育 Vol.12」

はじめに

過去数年間、新型コロナウイルス感染症の広がりにより、学生生活や学内行事の中止、自粛を余儀なくされ、また地域の皆様にご利用いただいております公開講座「椿の道アカデミー」につきましてもかなりのご不便をおかけし、大変申し訳ありませんでした。

ですが令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により、学生のサークル活動や学外交流も活発化し、学生交流の機会でもある学内スポーツ大会も内容が充実してきました。大学祭も昨年度までは学内関係者のみによるものでしたが、今年度からようやく学外の方に公開できるようになり、少しずつコロナ禍前の状況に戻ってきました。また、「椿の道アカデミー」もようやく対面にて実施できるようになりました。

この「地域研究と教育」は本学教員による地域に特化した研究並びに地域と連携した教育活動を紹介しているものです。島根県立大学松江キャンパスは、四年制の人間文化学部（保育教育学科・地域文化学科）、短期大学部（保育学科・文化情報学科）の2学部4学科で構成されていますが、それぞれの学科における今年度の活動内容を見てみますと、学内の奨励金等を利用した多様な子どもたちに向けてのサポートや多文化共生、観光、国際関係、フィールドワーク（学外調査）による地域交流、地域情報発信等、昨年度よりもさらに充実した幅広い活動が実施されています。

今後さらに島根県の公立大学として、地域の将来を担う人材の育成、研究を重ねてまいります。地域の皆様には、さらなるご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和6年3月

松江キャンパス地域連携推進委員長 宮下裕一



CONTENTS

02	教育機会の拡充
02	出雲地方の伝統文化「ぼてぼて茶」体験会
03	地域貢献推進奨励金
03	島根を創る人づくり事業
04	しまね地域マイスター制度(人間文化学部)
04	公開講座
05	公開授業「みんなに知ってほしい！視覚障がいのこと、そしてその支援」
05	地域の皆様からの学生支援

人間文化学部



保育教育学科

06	『ウクライナとロシアの子ども絵画展』の開催(今日も、明日も、子どもは子どもを生きています。未来に期待し、今を生きています。)
07	地域貢献推進奨励金事業による地域活動「けんだい ふるーる」(発達に気がかりのある子どもと家族)
07	児童養護施設及び里親への支援
08	読み書き支援事例指導(地域活動/学生教育)
08	こどものだいがく—子どもの学びを広げる・つくる・考える地域の学び場—
09	島根の地域課題解決にむけた取り組み



地域文化学科

10	地域を知り考えるための教育(多文化共生論)
10	地域を知り考えるための教育(観光と地域)
11	地域の貴重な文化資源に触れ、教育研究に活かす(国際文化/国際関係研究室)
11	島根は 그리스 口先進地！(観光地デザイン研究室/ゼミ)
12	高大連携プログラム「県大生と新しい学校図書館を考えよう」(司書課程と高校生をつなぐ)
13	地域の学校から学ぶ教育(国語教育学ゼミ)
13	地域の社会人が県大生を全力応援！(キャリアデザインⅠ・Ⅱ)

短期大学部



保育学科

14	ミライキッズさんいん体力測定(保育者としての資質を高めるとともに民間の企業と連携し地域に貢献する活動)
15	第1回キッズコンサート(音楽研究室の学生が行う地域貢献活動)
16	「こっそり畑」プロジェクト(島根県立松江農林高等学校との高大連携活動)
17	「子どもレストラン」開催(子ども食堂における新たな取り組み)
17	JFAなでしこひろば(地域子どもたちと共に)



文化情報学科

18	フィールドワークの実践(地域資源演習Ⅰ)
19	地域の情報を発信する(情報応用)
20	フィールドワークの実践(しまね文化情報研修)
21	地域の文化を取材して紹介(文化情報誌制作)
22	教育機関との連携
24	授業における連携
26	地域志向研究活動一覧(R1～R5)
28	地域連携(貢献)活動の取組状況(講師・委員歴・その他活動)
32	教育課程のための地域との連携(実習実施施設・機関一覧)
33	教員紹介

教育機会の拡充

令和5年度、松江キャンパスでは県内高校との教育連携に引き続き力を入れてきました。松江東高校、松江南高校、松江商業高校、出雲高校、平田高校、三刀屋高校、島根中央高校、大東高校、出雲商業高校、大多和学園開星高校からの依頼を受け、本学教職員は高校生に対し、講義や課題研究の指導・助言を行いました。

また、近隣の教育機関については、中学校、小学校、幼稚園、幼保園における、本学学生による絵本の読み聞かせやボランティア活動、松江商業高校との図書館交流、特別支援学校との交流など、継続して多彩な形で連携交流をはかっています。

出雲地方の伝統文化「ぼてぼて茶」体験会

出雲地方の伝統文化である「ぼてぼて茶」を伝承するため各所で体験教室を開催している島根県退職公務員連盟松江支部の皆様を講師に迎え、「ぼてぼて茶」体験会を松江キャンパスで開催しました。

体験会では、ぼてぼて茶の起源・立て方・飲み方について教わったあと、実際に専用の茶碗と茶せんを使ってお茶を泡立て、漬物、黒豆、高野豆腐、椎茸などの具材を入れて飲みました。参加者からは「こんなに美味しいものなんだと驚いた」「お茶と具材の組み合わせが美味しい」「友達や家族に話したい」「松江の伝統食として伝えていきたい」といった感想をいただきました。学生、教職員あわせて約30名が参加し、ぼてぼて茶は全国に誇れるお茶であることを知る楽しい会でした。



ぼてぼて茶の歴史を学ぶ



ぼてぼて茶の点て方を学ぶ



ぼてぼて茶を体験



地域貢献推進奨励金

島根県立大学では、島根県内の地域貢献活動に主体的に取り組む学生の活動に必要な経費を支援しています。県内の地域課題解決に資するとともに、学生の課題解決能力を育成し、県内全域をフィールドとした地域教育を推進していきます。

◎R5 松江キャンパス活動一覧

学科	代表者	活動名
保育教育	西村 健一 教授	協働的な学びを実現する遠隔社会教育 ～アクアスとみんなをICTでつなげるプロジェクト～
保育教育	水内 豊和 准教授	子どもの表現や発達を広げるアート活動@島根県立大学
地域文化	赤坂 一念 教授	「浜田駅周辺に自習・交流スペースを」プロジェクト
地域文化	中野 洋平 准教授	島根県民族芸能調査プロジェクト
保 育	宮下 裕一 教授	「乃木こども食堂」の子どもたちによる「(仮)こどもレストラン」 プレオープンに向けた取り組み
保 育	渡邊 寛智 准教授	島根県立大学短期大学部 音楽研究室 「第1回キッズコンサート」

島根を創る人づくり事業

島根県立大学では、島根を学び、島根で就職する学生を増やすため、学生と県内高校生との地域学習や学生による地域活動、また学生が地元企業を知る機会づくりに係る経費を助成しています。

◎R5 松江キャンパス「地域貢献活動」一覧

学科	代表者	活動名
保育教育	内山 仁志 准教授	こどもの読み書き・学習支援による地域貢献事業
保育教育	梶間 奈保 准教授	松江キャンパスが学びの場!みんなで子どもの学びを広げる・加わる・考える ー「こどものだいがく」子どもと一緒に〇〇〇!
保 育	梶谷 朱美 教授	ミライキッズ山陰プロジェクト
保 育	小林 美沙子 准教授	こっそり畑プロジェクト

しまね地域マイスター制度(人間文化学部)

島根県立大学では、しまね、ならびに、地域の諸課題に関する卒業研究を完成させた学生に対して、本学独自の称号「しまね地域マイスター」を授与します。松江キャンパス人間文化学部では、平成30年度の学部設立と同時に本制度を開始しました。本制度は登録制で、令和3年度入学までの学生を対象に、要件をすべて満たして優秀な成績を修めた者と認められた場合には、マイスター称号を卒業時に授与します。令和5年度は、地域文化学科5名の学生が「しまね地域マイスター」として認定されました。

マイスターに認定された学生は、2月に行われた「KENDAI 縁結びフォーラム」にて卒業研究の内容をポスター展示により発表しました。

学生氏名	研究題目	指導教員
川上 琉花	出雲市コミュニティセンター図書室のまちづくり資料室としての可能性	木内 公一郎 教授
成瀬 陽代里	田園回帰の心理学的分析と「グリーン・ツーリズム」からみる田舎暮らしの真価	岩本 晃典 助教
錦織 菜々加	島根県出雲市の暮らしやすさ —アメリカ合衆国オレゴン州ポーランド市を比較対象とした—考察—	小長谷 悠紀 教授
山根 悠暉	雲南市における郷土料理「焼きさば」の観光活用への検討	小長谷 悠紀 教授
渡部 玲奈	アマテラス考—出生、装い、道具—	山村 桃子 准教授

公開講座

松江キャンパス公開講座、通称「椿の道アカデミー」は今年で30周年を迎えます。新型コロナウイルス感染拡大防止により不開催となっていましたが、4年振りに対面講座を再開することができました。

講座名	担当教員
多文化社会に学ぼう～“異なり”を楽しむスキル～	三成 清香 准教授
子どもの発達を理解と特性に応じた支援① 「子どもの発達を理解し、子育てや発達支援を楽しむためのヒント♪」	水内 豊和 准教授
子どもの発達を理解と特性に応じた支援② 「子どもの読み書きの発達とその支援」	内山 仁志 准教授
子どもの発達を理解と特性に応じた支援③ 「子どもの発達を促す関わり方とは？」	西村 健一 教授

公開授業「みんなに知ってほしい!視覚障がいのこと、そしてその支援」

保育教育学科「視覚障害児教育総論」の公開授業を行いました。学生、教職員のほか支援機関や地域の方など約50名が参加しました。

●公開授業 「みんなに知ってほしい!視覚障がいのこと、そしてその支援」

開催日：2023年11月27日

内容：講師：関田むつみさん（視覚障害当事者、相模原市視覚障害者協会理事）
タイトル：「視覚障害と私～自己の探求と覚醒への道～」

講師：蒔苗 詩歌先生（北星学園大学 アクセシビリティ支援室、障害学生支援担当）
タイトル：「視覚障害学生と大学～見ることの保障～」

関田さんからはご自身の半生を振り返りながら「目が見えなくなって絶望した時期も無駄ではなかった」と思えるようになっていく変遷を丁寧にお話しいただきました。「障害は私の一部でしかない」こと、「手段×工夫×協力×配慮＝無限の可能性」であること、そして「誰よりもその人の可能性を信じてあげることがその人に力を与えるということを忘れないで」という言葉は参加者の心に深く刻まれました。

蒔苗さんからは障害とは「機能障害と社会的障壁の二つが合わさることによって生じるものであること、合理的配慮やアクセシビリティについての説明を法律用語にとらわれない形で大変わかりやすく説明していただきました。また、障害学生支援担当者として具体的にどんなことを考えながら、どのようなことをしているのかについて様々な機器の紹介を通してお話ししていただきました。



関田むつみさんによる
「視覚障害と私～自己の探求と覚醒への道～」



蒔苗詩歌先生による
「視覚障害学生と大学～見ることの保障～」

地域の皆様からの学生支援

一人暮らしや寮で生活している本学学生のためにと、NPO 法人フードバンクしまね あったか元気便より、お米、食料セットなどをご寄贈いただきました。また、団体・法人の皆様から、基金への御寄付をいただきました。たくさんのご支援をありがとうございます。教職員一同、心より御礼申し上げます。



『ウクライナとロシアの子ども絵画展』の開催

今日も、明日も、子どもは子どもを生きています。未来に期待し、今を生きています。

保育教育学科教授 福井 一尊

2022年2月にロシアによるウクライナへの軍事侵攻が勃発しました。現在（2024年3月）においても各地で多くの人々が戦争の犠牲となっています。両国の大人や政府が作り出しているこの凄惨な状況下においても、多くの子どもが各地域で生活し、成長を遂げています。戦時下における子どもの存在について、外国に情報が伝えられることは少ないですが、決して忘れてはならない事実でしょう。

そこで、福井教授とゼミ生（7名）は、「ウクライナとロシアの子ども絵画展」を開催し、作品に触れることを通して、世界のどこにいても変わらない子どもたちの素直な表現を受けとめるとともに、平和を希求する気持ちを鑑賞者が互いに確認し合う機会を創出することを目指しました。



2023年8月8日 朝刊



準備風景



展示作品

『ウクライナとロシアの子ども絵画展』

2023年11月20日(月)～11月29日(水)

島根県民会館(松江市殿町) 1階 プロムナードギャラリー

協力: 公益財団法人 美育文化協会

展示した子ども作品: ●ウクライナ:40点 ●ロシア:40点 合計80点

「島根に残る戦争の痕跡」トークショー&写真展

写真家・高嶋敏展 × 聞き手・福井一尊

日時: 2023年11月23日(木・祝日)14時～15時



美術館等の特定の人が集まる施設ではなく、一般の人々が気軽に立ち寄れる会場での展覧会を計画し、1,000人を超える来場者を得ました。来場者は一様に温かいコメントを残してくださいました。また、新聞・テレビも多数報道し、地域の関心の高まりを実感することができました。本取り組みの目的は、全国的な大きなムーブメントを生み出すことではなく、展示空間をこの地域で共有することであり、それを実現できたのではないのでしょうか。

また、写真家・高嶋敏展氏のトークショーにより、島根県内にも戦争の痕跡が多数残っていることを学び合いました。本展覧会やトークショーに来場いただいた県民と、戦争を遠くの出来事と捉えるのではなく、我々が生きる一つの世界で起こっているという実感を、説教くさくなく共有できました。



「島根に残る戦争の痕跡」トークショー



会場風景



2023年11月23日 朝刊

地域貢献推進奨励金事業による地域活動「けんだい ふるーる」

発達に気がかりのある子どもと家族

保育教育学科准教授 水内 豊和

人間文化学部保育教育学科の臨床発達心理学研究室(水内豊和准教授)では、保育教育学科の学生たちが企画して、年間を通じて、発達に気がかりのある子どもとその家族が安心して参加できる楽しい遊び活動の場「けんだい ふるーる」を開催しました。7月は「自分なりのさかなをつくってみんなでさかなつりをしよう」、9月は「おちばやどんぐりをつかってこうさくをしよう」、12月は「親子で遊ぼう♪ ねるねるねるね!」、1月は「自分なりのスノードームや凧を作ろう!」、3月は「春のファッションショーを楽しもう!」という活動に親子が参加して楽しんでくださいました。

この取り組みを通じて、学生たちは、子どもの発達や年齢を考えた活動を企画する力がつきました。参加された発達に気がかりのある子どもと家族にとっては、気兼ねなく楽しめる場となったようです。また新聞取材などを通じて地域には、発達障害についての理解啓発や、地域で支えることの大切さを伝えることができました。

企画実施した学生たちからは「最初は初めての活動でどうなるか不安でしたが、先生やメンバーのみんなとの協力もあり、毎月子どもがとても楽しんでくれてやりがいを感じました。また、ご両親の方の悩みなどを聞く機会もあって、今までにない経験でした。活動に参加してくれた子どもが毎月の活動内容を覚えてくれていたことがとても嬉しかったです。このような経験ができる活動に参加できてよかったです。」といった感想が聞かれました。



島根県との連携事業/島根を創る人づくり事業

児童養護施設及び里親への支援

保育教育学科教授 藤原 映久



現在の日本では、約4万2千人の子どもたちが、保護者の不在、保護者の障がいや疾病、児童虐待などから家庭を離れ、社会的養護と呼ばれる制度の下で生活しています。具体的には、里親委託や養子縁組といった家庭養護、乳児院や児童養護施設といった施設養護が社会的養護の場です。そして、実際に社会的養護を支えているのは、里親、養親や乳児院、児童養護施設などの職員の方々です。

社会的養護を必要とする子ども達の多くが、被虐待体験を抱えています。また、発達障がいや軽度の知的障がいなど、障がいのある子ども達の利用も増えています。よって、その支援者には、高い専門性が求められるとともに、支援者を支える支援が必要です。そこで、島根県中央児童相談所など、県内の児童相談所と連携しながら、県内2か所の児童養護施設(安来学園、聖煌寮)と里親に対する支援を行っています。児童養護施設の支援では、年9回程度の研修会を計画し、事例検討、スキルアップのための講習会、各種のグループワークを行っています。また、令和5年度は、安来学園において、本学の内山准教授と学生達の協力の下、子ども達を対象にした運動遊び(トランポリン、スラックラインなど)も実施しました。

里親支援に関しては、松江赤十字乳児院が開催する里親・里子の集まりである「ひまわりネットの会」に参画し、本学松江キャンパスを会場として提供するとともに、内山准教授と学生達の協力の下、工作遊びと運動遊びを行いました。また、本学主催の「こどものだいがく」においては、里親会の協力の下、地域の方々が里親の存在や里親制度を知る機会を提供しました。



読み書き支援事例指導

地域活動/学生教育

保育教育学科准教授 内山 仁志

本事業では県立大学学生による読み書きおよび学習支援を2022年度から開始しました。夏休み中の短期支援型とその後、希望する児童・生徒を対象に1～2週間に一度の定期支援型があります。2022年度は短期支援児が15名、定期支援児が8名でしたが、2023年度は短期支援児が22名、定期支援児が15名と増加しました。保護者と対象児の支援に対する満足度は5点満点中、保護者4.5点、対象児4.7点と極めて高いものでした。保護者からは、勉強に前向きに取り組むようになった、学生スタッフの言葉が素直に学びにつながる、実際のテストの点数が上がった、という意見が多くを占めました。また、対象児からは大学での勉強は色々なことがわかるようになるから楽しい、とのことでした。

指導スタッフは保育・教育職を目指す12名の学生でした。実際に子どもと直接関わる中で、どのような声かけや具体的な支援が必要であるかを学べたこと、授業で習ったICT支援を実際に行えたこと、特性に合わせた指導の大切さを知れたことが良かった、とのことでした。今年度は学生が読み書きに関する研究会に参加したり、事例検討会を行ったり、タブレット講座を開いたりなど、自主的に活動する様子が見られました。自分たちの活動をしまね大交流会や学内図書館で展示して広く伝える活動も行いました。未来の教育を担う人材が順調に育っていることがうかがえる活動になっています。



島根を創る人づくり事業

こどものだいがく —子どもの学びを広げる・つくる・考える地域の学び場—

保育教育学科准教授 梶間 奈保



8月20・21日に、松江キャンパスの一角が親子連れでにぎわいました。そのイベントが「こどものだいがく」です。

この「こどものだいがく」では、子どもを取り巻く諸課題の拠点として松江キャンパスを位置づけ、子どもたちの学びの芽生えにつながる機会を教員の専門分野を活かした学びや体験で育むことが目的です。「こどものだいがく」へは0歳5か月の赤ちゃんをはじめ、小学生や中学生など約150名の来場者が運動あそびやプログラミング講座など各プログラムに参加しました。

大学は本来、学生の勉学や研究の場であり、大学教員も地域課題と向き合い、その研究成果を社会に還元する教育機関です。そのため大学は、地域の方々の協力や理解があってこそ、教育活動や研究に取り組むことができます。しかし、大学が地域の中核的

な存在として位置するためには地域との関係構築が重要となり、地域の中で本学が地域の課題解決の場であることを多くの方に認識してもらわなければなりません。

今回「こどものだいがく」に参加した来場者からのアンケートでは、「家庭では体験させてあげられないことが、体験させてもらえて良かったです。子供も、「大学に行く」ということに特別感があった」「小学生と未就学児の子供両方が楽しめる内容でした。木育ひろば、また行きたいそうです。夏休みの子供達を連れてのおでかけに大変良かった」など、楽しく参加された声が寄せられました。また、約半数以上の人が初めて来学されるなど大学の認知にもつながっており、本学に興味関心を持つきっかけにもなっています。今後も「こどものだいがく」で地域における大学の新たな在り方を発信できればと思っています。

島根の地域課題解決にむけた取り組み

特別支援研究推進チーム

島根県立大学松江キャンパスの「特別支援研究推進チーム」（教授：西村健一、准教授：内山仁志、准教授：水内豊和）では、令和5年度より、島根県における地域課題として、a) 特別支援教育の人材不足 b) 特別支援教育の相談先不足 c) 障害児・者とその家族の社会参加の場所の少なさと捉え、これらの地域課題の解消に取り組んでいます。

教員ごとに以下のような取り組みを行い大きな成果を得るとともに、令和6年度についても継続していくこととしています。

西村：山陰パナソニック株式会社と連携し、8月10日（木）にeスポーツ体験会&情報交換を行いました。2024年に特別な支援を必要とする子が参加できるeスポーツ大会の開催について検討しました。

内山：読み書き支援相談会と保護者向け講演会を開催しました。

①相談会の開催（6月～1月）：松江・出雲・安来・隠岐にて支援器具の体験会や児童への支援を実施しました。参加者は主に保護者でしたが、その他に現職教員、医療関係者等の姿も見られました。

②9月3日（日）：全国LD親の会会長を招いて座談会を開催しました。松江・出雲地区の保護者が参加しました。

水内：発達に気がかりのある乳幼児とその家族を支える取り組みを行いました。

①発達に気がかりのある子どもとその家族の親子活動「けんだい ふるーる」時に、毎回子どもを学生に任せて保護者のみを対象とした発達講座や発達相談を実施しました。

②2024年3月から個別発達相談を随時実施しています。

また、公開講座「松江キャンパス 椿の道アカデミー」では、a) 子どもの発達を理解し、子育てや発達支援を楽しむためのヒント♪（水内）、b) 子どもの読み書きの発達とその支援（内山）、c) 子どもの発達を促す関わり方とは？（西村）の3つを開催し、地域における障害や特別支援教育の意識向上や支援スキルの提供に寄与しました。

2024年3月16日（土）には今年度の成果報告を兼ねた県民対象イベント「多様性を受け入れ、共生社会を実現するために県民としてできることーインクルーシブ社会のあり方を考えるー」を開催し、県民とともに課題の共通理解と解決の方途を探る機会となりました。



地域を知り考えるための教育



多文化共生論

地域文化学科教授 塩谷 もも / 准教授 三成 清香

「多文化共生論」は、地域における多文化共生社会の現状や課題について学びながら、互いに多様性を認めあう社会をつくるために私たちはどうすればよいのか、ということと共に考えていく科目です。

今年度は、しまね国際センターから講師をお招きし、2回にわたって「やさしい日本語」の実習を行うとともに、県内で実際に行われている取り組みを理解するため、島根県外国人地域サポーター、松江市役所の国際交流員、島根モスク・イスラム文化センター、松江西高等学校で活動されている方々からお話をうかがいました。また、JICAで国際協力に携わってこられた方にもご講演いただき、多文化共生について多角的に学ぶことができました。

本科目の学びを通じて、学生たちは地域の課題を「自分事」として捉え、自身には何ができるのかを具体的に考えてくれるようになりました。

一人でも多くの学生が、ここで学んだことを活かして地域社会に貢献できるよう、授業内容をさらに充実させていきたいと思えます。



観光と地域

地域文化学科教授 小長谷 悠紀 / 助教 岩本 晃典



「観光と地域」は、観光に関するニュースや議論の場で使われる用語の語意をおさえつつ、人間や社会にとっての観光の意義、地域と観光とのさまざまなつながりについて学ぶ科目です。

令和5年度は、教室での講義に加え、松江市美保関町を訪問しました。古くは、朝鮮半島等との環日本海交易の拠点であったところ。たたら製鉄による鉄の輸出港となり、室町時代には将軍の直轄領、江戸時代は北前船交易の要所となって廻船問屋などが軒を並べていました。その美保関は、目下、2026年にむけ重要伝統建築物群保存地区選定を目指しています。松江市の文化財課歴史まちづくり係、地域の観光関係者や住民が連携し、観光まちづくりに取り組まれています。

現地学習の当日は、市のご担当者、市観光協会美保関支部や地域ガイドの皆さん、旅館美保館様にもご協力いただき、お話をうかがい、まちあるきをしました。また、グループワークできづきや意見を述べ合い、地域社会の文化・歴史・建造物の保護やこれからの観光のあり方を考えました。

また、教室に、松江市の国際交流員をゲスト講師にお迎えした日もあります。それぞれに異なる「地域」の観点からという切り口で、観光に関する知見を語っていただきました。学生は、「出身国の魅力的な観光や課題」や「国際交流員からみた松江と観光についての魅力や課題」についてのお話などから、国際的な視座での観光と文化の関わりについて学び、また新たな課題意識を得ることができたと思えます。

ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。



地域の貴重な文化資源に触れ、教育研究に活かす

国際文化/国際関係研究室

地域文化学科教授 赤坂 一念

赤坂ゼミでは、国際文化（芸術文化の役割とその意義）／国際関係／小国外交／ヨーロッパ地域研究／地域からの国際化（地域から国際を、国際から地域を見る）／小さきものの底力などを研究対象としています。今年度は、積極的に地域のフィールドに飛び出しました。

まずは広島で開催されたG7サミットに触発されて、各国首脳たちの足跡をたどるべく広島平和記念資料館、平和記念公園、原爆ドーム、ひろしま美術館、厳島神社などを訪れました。また、3年生が着手した卒論のテーマに国際文化観光都市・松江に関するものが多かったため（ウェルネス・ツーリズムの可能性、水辺を活かしたまちづくり、八雲観光の可能性、MaaS利用の新交通システム開発）、同じく水辺を活かした観光戦略を展開している倉敷を訪れ、倉敷美観地区や大原美術館を見学し、知的好奇心を刺激し研究のモチベーションを上げました。同様の理由で、古代出雲歴史博物館や、地域資源や景観を活かしたまちづくりで成功している、大森銀山や温泉津の伝統的建造物群保存地区、さらには江津本町の藁街道も訪れました。

共同研究としては、地域貢献推進奨励金の助成を受けて、浜田キャンパスの赤坂ゼミと共に、「浜田駅周辺に自習・交流スペースを」プロジェクトを敢行しました。「石見銀山まちを楽しくするライブラリー」「パレットごうつ」「かわもとあそラボ」を複数回訪問し、7月に開設された「浜田市まちなか交流プラザ」の自習・交流スペースの活用策をまとめました。その研究成果は「R5年度KENDAI縁結びフォーラム」にて発表しました。また「江津市庁舎プロジェクト」（ル・コルビュジエの弟子である吉阪隆正氏が設計した旧市庁舎の文化財的価値を探究しその利活用を探るもの）にも参画し、旧市庁舎で開催された吉阪隆正展も鑑賞しました。



厳島神社にて



旧江津市庁舎

島根はグリスロ先進地！

観光地デザイン研究室/ゼミ

地域文化学科教授 小長谷 悠紀

松江キャンパスの観光地デザイン研究室は、令和5年4月に担当教員（小長谷）が着任し、3年生5名、4年生5名のゼミ生を迎えてスタートしました。私たちは、ひとびとが行きかい、眺め、ともに使う交通・交流の空間をよりゆたかで快適に、また、いろんな人たちの観光の場面がみんなにとって素敵なものになるようにしていくための学問、研究を目指しています。

23年度は、安心・安全・低速な次世代型の乗り物「グリーンスローモビリティ（以下グリスロ）」を切り口に、県内の先駆的な導入の場を訪ねてお話をうかがい、ひとびとの暮らしとともにある地域の空間での交通の問題について学びを深めました。

グリスロは、電気で走り、概ね20km以下で人を運びます。ゴルフカートに似たタイプと、ちっちゃなバスのタイプがあり、県内で走っているのはカート型です。ゼミ生は、石見銀山の古の町割りを残す旧鉱山まち大森と松江市の高齢化が進んだ法吉団地境界を走るグリスロが、それぞれどのような事情から導入されることになったのか、また、関係者の方々かどのようなことを留意・検討されたのか、そのうえで「いいよね、グリスロ」となっている今日の場面をいかに創り出せているか、学ばせていただきました。また松江のそれが国内第二例めの先駆けであったことや、大森での導入のきっかけが今でいう「オーバーツーリズム」経験によるものだったことも知りました。



グリスロとまちづくりの物語。「それ、もっと大勢に伝えよう」。3年生はポスターを制作して、12月に行われた観光シンポジウムに出展、報告させていただきました。作成したポスターは7月のオープンキャンパスでも展示するつもりです。お越しの際はどうぞご覧ください。

ゼミ活動にご協力いただき、银山カートやリホープ号、そしてそれらの走るまちのことを、丁寧に教示くださいました皆様に心より感謝申し上げます。



大森サテライトキャンパスで



リホープ号の前で社会福祉法人みずうみの理事長様と



運行中の银山カート、
島根大学でのポスター報告

高大連携プログラム「県大生と新しい学校図書館を考えよう」

司書課程と高校生をつなぐ

地域文化学科教授 木内 公 一 郎

2023年12月、2日間にわたり、高大連携プログラム「県大生と新しい学校図書館を考えよう」(オンライン)を実施しました。詳細は写真をご覧ください。対象は司書職に関心のある県内高校生です。その目的は大学の学びを知っていただくことと学生と交流することです。15名の高校生に参加していただきました。

高校生の内訳は以下のとおりです。浜田高校1年生4名、松江東高校3年生1名、松江北高校1年生1名、平田高校2年生3名、安来高校3年生1名、2年生1名、1年生1名、大東高校2年生1名、1年生1名、出雲高校1年生1名。本学からは地域文化学科図書館情報学ゼミ3年生4名が参加しました。

1日目は司書課程の概要説明、学校図書館に関するミニ講義を行った後に地域文化学科1期生であり、安来高校学校司書の野津成美さんに登場していただきました。司書になるまでの経緯や現在の業務内容などをわかりやすくそして楽しく説明されました。

2日目は学生と高校生が4つのグループに分かれ、「学校図書館の利用者を増やす方策」について、ディスカッションが行われました。最後にはグループごとに発表をしていただきました。発表内容には実際に実践可能なアイデアも含まれていました。

司書課程にとっては初めての取り組みでしたが、今後も高校生との交流を継続して行きたいと考えています。

県大生と

新しい学校図書館

を考えよう

島根県立大学の先生や大学生から
司書資格や図書館について学ぶ講座です。
「本・図書館が好き」「将来は本に関わる仕事が
したい」という高校生はぜひ参加してください！

日時：1日目：12/8(金)、2日目：12/15(金)
どちらも16:00-17:00※原則両日参加
場所：オンライン

申込：12/5(火)締切 定員：15~20名程度
講師：県大 人間文化学部 木内公一郎 教授
短期大学部 床井啓太郎 准教授
安来高校 野津成美 学校司書
島根県立大学の大学生

☆大学生と交流をすることができ、
大学について知るチャンスでもあります！
参加希望者は右のQRコードから申し込んでください。

問い合わせ：
高大連携推進員(松江東高校) 池亀雅人
Tel:090-1406-7853
Mail:i-ikevame-masato@cl.shimaneu.ac.jp



地域の学校から学ぶ教育

国語教育学ゼミ

地域文化学科准教授 古賀 洋一

国語教育学ゼミには、中学校・高等学校の教師を志している学生が多数在籍しています。大学では国語科全体の目的や、教科を構成する「読むこと」「書くこと」「話すこと・聞くこと」の各領域について、生徒の言語能力の発達や授業で育てたい力、教材研究の手法や授業づくりの基本について学ぶと共に、新しい授業の可能性についても追究しています（地域や図書館との連携など）。

ですが、実践力豊かな教師になるための素地を培ううえで、大学での学びでは限界があります。理論では掴めない生徒の実態や授業の工夫、教師の意図を学びとるためには、実際の授業実践を観察する機会が欠かせません。

こうした問題意識から、国語教育学ゼミでは授業観察の機会を豊富に取り入れています。今年度は、鳥取県立鳥取東高等学校や松江市立義務教育学校玉湯学園、広島大学附属中・高等学校、島根大学附属義務教育学校をはじめ、県内外の多くの学校に出かけました。授業の後には協議会も設定していただき、授業づくりの発想や学習活動の意図、生徒の様子を見る際の視点、介入のタイミングの見極め方など、多くのことをご教示いただきました。

今後こうした機会を通して、学生一人一人が理想の授業像を磨き、地域の教育を支える人材へと育っていくことを願っています。ご多忙のなかにも関わらず、学生の授業観察をお認めいただいた皆様に心より感謝申し上げます。



地域の社会人が県大生を全力応援！



キャリアデザインⅠ・Ⅱ

地域文化学科准教授 高須 佳奈

「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」は、地域文化学科と保育教育学科の学生が学科を超えて学ぶキャリア系科目です。自分自身に対する深い自己理解と、地域や社会とその変化を知ることを通し、主体的に行動するために必要な知識とスキルを1年をかけてじっくりと学んでいます。

特に、春学期のキャリアデザインⅠは、「人生における『しごと』とは何か」を授業の中心に据え、知識教授だけでなく、情報探索や学生同士のディスカッション及び社会人インタビューから自分たちなりの答えを導き出すプロジェクト型で授業を展開しています。この授業特性から、地域の事業所で活躍している多数の社会人に協力をいただいています。協力先は、ITから観光・宿泊業など幅広い業界



の企業と学校・行政機関など多様で、本学の卒業生も積極的に協力してくれています。一方、この授業を受講する学生たちは、社会人との交流のなかで、様々な業界・業種・働き方があるということはもちろん、社会から見たそれぞれの「仕事」の意味合いや使命に気づいていきます。また、「社会人＝人生の先輩」が積み重ねてきた数々の経験、就職や転職・起業といった人生の転機における迷いや決断を知り、人生の多様性を体験的に理解していきます。

このような学生主体の活動を通し、本授業の履修学生たちは「大学で何を学ぶか」を改めて自己設定すると同時に、卒業後も含めた自分自身の「生き方」を考え、行動する力を身に付けています。

ミライキッズさんいん体力測定

保育者としての資質を高めるとともに
民間の企業と連携し地域に貢献する活動

保育学科教授 梶谷 朱美

幼児期の遊びや運動機会の減少は新型コロナウイルス感染症拡大以前から報告され、子どもの体力や運動能力の低下とともに運動遊びを通して得られる非認知能力（意欲や粘り強さ、コミュニケーション能力、自己肯定感等）等の心の成長への影響も危惧されています。

そこで、梶谷研究室のゼミ生は、山陰中央テレビジョン放送株式会社や株式会社メディアスコープ、株式会社こころプラスが運営する「ミライキッズさんいん実行委員会」と連携・協働し幼児の体力測定会の企画運営に一昨年度から参画しています。

本学の「島根を創る人づくり事業」の一環として心身ともに健やかな島根の子どもたちを育てるプロジェクトを学生主体で企画・運営しています。

今年度は、本学アリーナで開催するばかりではなく、初めて学外へ出かけ、隠岐の西ノ島町の2保育園、及び、松江市の「子育ての日」にも参加しました。

保育者を目指す学生にとっては実践的な学びの場となり、学生が直接、子どもや保護者、外部の指導者等と関わることで保育者としての資質である子ども理解や保護者対応、運動遊びの指導の方法やポイントを学べる貴重な場になっています。

「25M走」「鉄棒ぶら下がり」「テニスボール投げ」「両足跳び」の4種目の測定とともに、幼児が楽しく遊べる遊びのブースの設置や親子でふれあい遊びができるコーナーを設け、親子で楽しめるイベントとして、地域の皆様に毎回喜んでいただいています。



ミライキッズさんいん体力測定(県大体育館・松江市役所「子育ての日」)



隠岐郡西ノ島町での体力測定にあわせた みた保育園・シオン保育園での保育体験活動



第1回キッズコンサート

音楽研究室の学生が行う地域貢献活動

保育学科准教授 渡邊 寛智

2023年7月17日に、松江市市民活動センターの交流ホールで音楽研究室の学生が主体的に企画・運営を行った「キッズコンサート～さがしにいこう！にじいろのメロディー♪～」が開催されました。このコンサートは、音楽研究室の2年生が中心になり、「卒業研究」で取り組んでいる研究テーマに基づいた内容の選曲を行い、地域の子どもたちと保護者の方とともに音楽表現活動を楽しむためのコンサートです。

2年生の学生は、実習や就職活動があるなかで、どのようなコンサートにするのか熱心に考え、子どもと楽しめる選曲から、チラシの作成、ホールの方との打ち合わせまで、一からコンサートの運営に関わりました。最初に考えたのがキッズコンサートのサブタイトルです。様々なアイデアが出されたなかで、最終的に「さがしにいこう！にじいろのメロディー♪」に決定しました。学生がチラシを作製した際に、「にじ」が描かれることになりました。また、当日は音楽研究室の卒業生で現役保育士として活躍されている、はるかお姉さんがピアノソロを披露してくださいました。コンサートの終わりには、はるかお姉さんが作曲した「みんなの詩」を音楽研究室の1年生、2年生で歌い、楽しい雰囲気の中でコンサートを終了することができました。



学生が最初に描いたチラシ案



完成版のチラシ



子どもたちと大きなにじを描きました



1年生と2年生による歌と踊り



「こっそり畑」プロジェクト

島根県立松江農林高等学校との
高大連携活動

保育学科教授 梶谷 朱美 / 教授 宮下 裕一
准教授 小林 美沙子

保育学科では、令和3年度より島根県立松江農林高等学校と連携し、学生たちが農業をベースとした食育のスキルを身に付けることができる活動を行っています。このプロジェクトでは、「乳幼児とその保護者の生活が食を通して豊かになる」ために、①学生自身が農業体験を通して植物栽培の知識・技術を習得する、②乳幼児とその保護者向けの食育活動を計画・実施する、の2つの取り組みを行っています。

保育学科2年生は「幼児と環境」の授業で松江農林高等学校の曾田教諭から夏野菜の育て方を学内にある畑（こっそり畑）で実技を交えながら教わりました。また、保育学科2年生19名が松江農林高校の生徒6名と一緒に親子向けの食育イベントの計画・実施、親子向けの野菜の栽培パンフレットの作成を行いました。11月12日（日）に実施した親子向けの食育イベントでは、大根引きゲームなどのふれあい遊び、苺のプランター栽培、学内畑での大根の収穫体験を親子と共に楽しみました。また、親子向けの野菜の栽培パンフレット「めざせ！おやさいマスター！—おいしいおやさいゲットだぜ！—」は、親子と一緒に野菜の栽培をしたり、野菜双六をしながら野菜を身近に感じ、楽しみながら食に親しむことができる内容を考えました。どちらの活動も学生と高校生が何度も話し合い、知恵を出し合いながら活動を進めて行きました。

この活動を通し、地域の乳幼児とその保護者の生活が豊かになると共に、保育職を目指す学生や高校生が改めて保育職の良さに気づき、地域の子どもやその保護者を支える人材に育ててくれることを期待しています。



野菜の育て方を松江農林高校の先生から学ぶ



食育パンフレット「めざせ！おやさいマスター！
—おいしいおやさいゲットだぜ！—」



親子向け食育イベント
「こっそり畑親子体験イベント」



「子どもレストラン」開催

子ども食堂における新たな取り組み

保育学科教授 宮下 裕一

子ども食堂と聞くと、子どもや保護者等に対して無料、あるいは低額で栄養のある食事やだんらんの場を提供する実践を思い浮かべるとは思いますが、今回はその立場を逆にし、普段子ども食堂でお世話になっている人たちに向けて、子どもたちが中心となり食事を作りもてなすという「子どもレストラン」を開催しました。

当日は松江キャンパスで保育、教育学を学んでいる学生と栄養学を学んでいる出雲キャンパスの学生が子どもたちのサポート役になり、食事を用意しました。子どもたちが地域の人たちから感謝の言葉をかけられ、また保護者に食事作りの話をするなど、子どもたちの誇らしげな表情と笑顔が印象的な一日でした。



JFAなでしこひろば

地域の子どもたちと共に

保育学科准教授 中谷 昌弘

運動好きな子どもと、運動指導の得意な学生を沢山増やし、地域に貢献したいとの思いからスタートした「JFA*なでしこひろば」は、2023年の10月より月1回のペースで開催しています。対象は9歳以下の女の子で、サッカーに限らず、様々な運動遊びのプログラムを取り入れ活動しています。

2024年度はKENDAI NADESHIKO F.C.C（県大なでしこ地域貢献サークル）としてサークル化し、松江キャンパスだけではなく、浜田キャンパスや西ノ島町でも開催したいと計画しています。

今後もJFAキッズリーダー資格**を取得した学生を中心に活動していきます。

※(公財) 日本サッカー協会

※※6歳以下の子どもに、運動することの楽しさを教える(公財)日本サッカー協会公認の指導者資格



フィールドワークの実践

地域資源演習Ⅰ

文化情報学科講師 日高 正樹

隠岐の島町に1泊2日かけてフィールドワークをする本講義では、久見地区の久見竹島歴史館で4名の方にインタビューさせていただきました。2時間のインタビューを通じて、その方のお生まれから今までの人生をお伺いする「生活史」を聞き取らせていただきます。歴史館に勤められている方、Uターンで隠岐に戻られた方、親族が竹島の漁業に関わられていた方など、お一人お一人が異なる人生を歩まれていました。自分とは異なる他者が生きてきた道の一端に触れた学生は、うまく言葉に言い表せられませんが、たくさん感じるものがあったようです。調査地の歴史を知るために、島根県竹島資料室の方にも事前に出張講義をいただきました。人の温かさだけでなく、自然の雄大さ、独自の文化や歴史、食べ物のおいしさなど、たくさん隠岐の魅力を発見できた旅でもありました。フィールドワーク中、「あ！あれインタビューで聞いたやつだ！」との声がたくさん上がる姿も印象的でした。



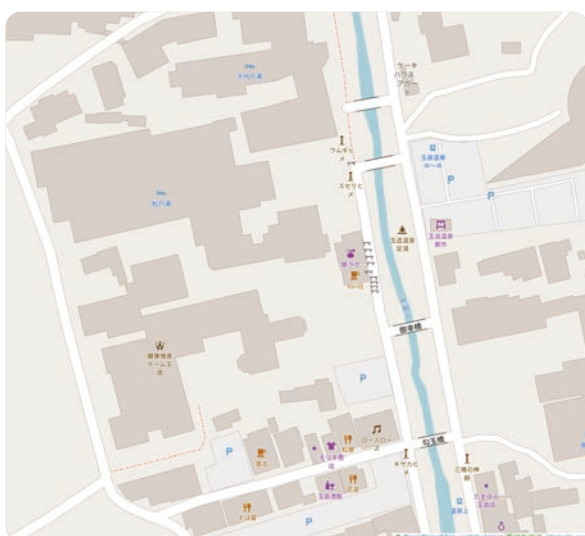
地域の情報を発信する

情報応用

文化情報学科准教授 加藤 暢恵

1年生の選択科目「情報応用」では、地域の情報を発信する技術について学び、学んだ技術を用いて、自ら調査した情報を世界へ向けて発信する活動を行っています。本活動では、まず現地に調査に出かけ、市販されている地図には記載されていないような小さな情報（自動販売機、街灯、公園の遊具など）を収集します。その後、収集した情報をもとに電子地図（OpenStreetMap）の編集を行い、全世界に向けて情報を発信します。これらの活動を通して、身近な地域の小さな情報に目を向け、地域を知ること、地元の情報を地元から発信することの意義について考えます。

今年も、地域での活動（玉造温泉）に加え、能登半島地震の被災地のクライシスマッピングにも参加しました。今回のクライシスマッピングでは、国土地理院が公開している航空写真をもとに、被災地の道路や建物を地図に書いていく作業を行いました。



フィールドワークの実践

しまね文化情報研修

文化情報学科講師 日高 正樹 / 教授 山根 繁樹

今年はお出雲市平田町を対象にしました。まずは全員で平田町を訪れ、木綿街道の歴史と現状を知り、地域の文化資源として韓竈（からかま）神社に参拝しました。その後、事前学習となる「しまね文化情報研修計画」で平田町の地域資源について班ごとに調べ、「問い」を立て、自分たちの考えた「仮説」をインタビューで検証する準備を進めました。具体的な調査対象は、平田一式飾り（平田一式飾り保存会・平田高校）／雲州ひらた太鼓／醸造文化としての醤油（加藤醤油有限会社・持田醤油店・岡茂一郎商店）／河下盆踊り（鱒淵地区河下盆踊り保存会）／七夕仮装船（平田まつり実行委員会）／NPO法人ひらた空き家再生舎／猪目神楽・猪目獅子舞（猪目神楽保存会・島根県立古代出雲歴史博物館・鱒淵コミュニティーセンター）とさまざまです。

自分たちで立てた「問い」についての「仮説」は、あっけなく覆されることもあれば、思いのほか的を射ていることもありましたが、調査報告書には、現地に行って直接お話をうかがうこととおして得た、驚きや感銘がたくさん記されることになりました。



地域の文化を取材して紹介

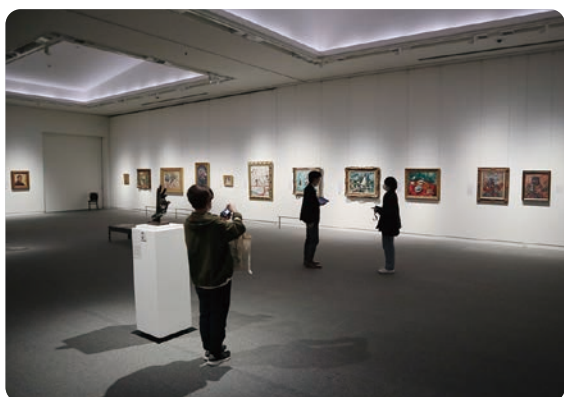
文化情報誌制作

文化情報学科教授 山根 繁樹 / 講師 日高 正樹
非常勤講師 小倉 佳代子

2年生の選択科目「文化情報誌制作」では、山陰地域の小さな文化を探して取材し、小冊子『ひだまりのおと』の制作を行います。これは、2016年まで発行されていた『のんびり雲』の後継誌です。

まずは特集テーマとなるワード選び。2023年度のワードは「さがす」です。このワードから発想した、記事として紹介したいことのアイディアを出し、企画を練ります。提案した企画が通れば、取材対象にアポイントを取り、自分で取材をして記事を書き、写真とともに誌面レイアウトをします。その際には、2年春学期の授業「文化情報表現法」で培ったDTPの力を駆使します。

地域で活動されているさまざまな人とのかかわりをおして、地域の文化に携わる方々の思いを感じ、それを伝える授業です。



教育機関との連携 (高大連携・中・小・幼・保)

No.	教員名など	相手方	内容	日付(期間)
1	日高 正樹(文化情報学科講師)	島根県立松江南高等学校	SSH教員研修会「課題研究の方法について」講演	令和5年4月26日
2	矢島 毅昌(保育教育学科准教授) 高須 佳奈(地域文化学科准教授) 岩本 晃典(地域文化学科助教) 日高 正樹(文化情報学科講師)	島根県立平田高等学校	2年生「総合的な探究の時間」 生徒作成の「探究計画書」への助言、探求方法のレクチャー	令和5年5月30日
3	西村 健一(保育教育学科教授)	島根県立大東高等学校	探求学習の進め方について、教員へ講義	令和5年6月9日
4	梶間 奈保(保育教育学科准教授)	松江養護学校(乃木校舎)	保育教育学科1年乃木校舎訪問、授業見学、生徒との交流 乃木校舎の生徒20名が本学訪問、授業受講、大学案内、レクレーションなどの交流	令和5年6月14日、 令和5年6月21日
5	高須 佳奈(地域文化学科准教授)	安来市役所・ 島根県立安来高等学校・ 島根県立情報科学高等学校	高大連携事業「未来アトリエ」企画・実施	令和5年6月11日、 令和5年7月1日、 令和5年8月12日、 オンデマンド
6	高須 佳奈(地域文化学科准教授)	島根県立江津高等学校	探求学習の指導の在り方や大学進学後に求められる力についての講義(教員研修)	令和5年6月26日
7	梶谷 朱美(保育学科教授)	学校法人大多和学園 開星中学校・高等学校	校内研究授業における指導助言「保健体育科ダンス授業」	令和5年7月4日
8	図書館司書 学生図書委員会	島根県立松江商業高等学校 (高校図書委員)	図書を紹介した高校図書委員と松江キャンパス学生図書委員の交流 (第1回は松江キャンパス図書館で高校生22名・図書委員14名参加、第2回は高校図書室で実施)	令和5年7月4日、 令和5年12月15日
9	おはなしレストランライブラリー司書	島根県立松江清心養護学校	高等部の生徒3名がおはなしレストランライブラリー見学、仕事体験、司書との交流を実施	令和5年7月5日
10	梶間 奈保(保育教育学科准教授) 今井 靖(高大連携担当学長補佐) 学務課職員	島根県立大田高等学校	1年生33名 授業体験(音楽)、学部・学科説明、学生との交流、施設見学	令和5年7月6日
11	時津 啓(保育教育学科教授)	島根県立大社高等学校	教育論(1年生、保育教育、地域文化、健康栄養共通開設)の授業参加者。 第1回 高校生本学訪問。授業見学(参加)、キャンパスツアー 第2回 荒木小学校へ学生と高校生訪問(授業見学、若手教員との意見交換)	令和5年7月6日、 令和5年12月7日
12	梶谷 朱美(保育学科教授) 宮下 裕一(保育学科教授) 小林 美沙子(保育学科准教授)	島根県立松江農林高等学校	「こっそり畑プロジェクト」農業体験をベースにした食育の知識や技術を持った保育者の養成を目指し、農林高校の2～3年生の生徒6名・教員と保育学科の学生19名・教員が交流。食育パンフレットの作成および「こっそり畑親子体験イベント」(11月12日)を実施。	令和5年7月10日、 9月1日 (高校生のみ) 11月12日
13	今井 靖(高大連携担当学長補佐) 学務課職員	松江市立皆美が丘女子高等学校	1年生(午前60名/午後45名に分かれて実施) 学部・学科説明、学生との交流、施設見学	令和5年7月11日
14	おはなしレストランライブラリー司書	高大連携推進員	企画「県大生と絵本を楽しもう」 高校生18名に大学生3名が子供の絵本の選び方、読み聞かせの方法などのレクチャー。交流会など実施	令和5年7月15日
15	岩本 晃典(地域文化学科助教) 藤 翔平(保育学科助教)	島根県立松江南高等学校	探究活動成果発表会アドバイザー	令和5年7月21日
16	中野 洋平(地域文化学科准教授) 今井 靖(高大連携担当学長補佐)	島根県立出雲高等学校	山陰探求サミット 審査員	令和5年7月27日
17	学務課職員	島根県立情報科学高等学校	1～3年生13名 卒業生との交流、施設見学	令和5年8月4日
18	岩本 晃典(地域文化学科助教)	高大連携推進員	企画「地域探求フィールドワーク」高校生6名にフィールドワークについてのレクチャー、実践などを学生も参加しながら実施	令和5年9月10日
19	おはなしレストランライブラリー司書	島根県立松江養護学校 (乃木校舎)	学生2名がおはなしレストランライブラリーの見学、読み聞かせについての説明、絵本の選書などを実施	令和5年9月11日
20	矢島 毅昌(保育教育学科准教授) 高須 佳奈(地域文化学科准教授) 三成 清香(地域文化学科准教授) 日高 正樹(文化情報学科講師)	島根県立平田高等学校	2年生「総合的な探究の時間」 地域協働学習 中間発表のアドバイザー	令和5年9月12日
21	中野 洋平(地域文化学科准教授)	島根県立出雲高等学校	令和5年度課題研究活動 講師 2年 普通科SS探求発展A	令和5年9月14日、 令和6年2月1日
22	赤坂 一念(地域文化学科教授)	島根県教育委員会教育指導課	石見オロチCOREハイスクールネットワーク構想「遠隔授業公開授業」(島根県立益田高等学校)にて指導助言	令和5年9月19日、 令和5年12月15日
23	前林 英貴(保育教育学科准教授) 小長谷 悠紀(地域文化学科教授) 古賀 洋一(地域文化学科准教授) 中野 洋平(地域文化学科准教授)	学校法人大多和学園 開星中学校・高等学校	文系1年生12名が「研究室訪問」の学習で来校。 (1)生徒による「研究テーマについてのプレゼンテーション」に、指導・助言を実施。(3名×4研究室) (2)教員の専門分野についての説明。	令和5年9月21日
24	矢島 毅昌(保育教育学科准教授) 木内 公一郎(地域文化学科教授) 藤 翔平(保育学科助教) 山根 繁樹(文化情報学科教授) 山村 仁朗(文化情報学科准教授)	島根県立松江東高等学校	1年生41名が「学問の魅力探究」の学習で来校。 (1)大学での学び、県立大学紹介 (2)教員(5名)が学問の魅力や大学での学びについてお話 (3)教員(5名)・学生(10名)と高校生で6Gに分かれて交流会	令和5年9月21日

25	倉橋 徹(文化情報学科准教授)	島根県立松江南高等学校	コンピューター言語「Ruby」に関わる指導	令和5年10月11、17、18、24、25、31日、11月1日
26	今井 靖(高大連携担当学長補佐)学務課職員	島根県立島根中央高等学校	2年生文系進学希望者46名 学部・学科説明、施設見学	令和5年10月17日
27	内山 仁志(保育教育学科准教授)	島根県立島根中央高等学校	1・2年生対象進路ガイダンス 体験授業を実施	令和5年10月19日
28	古賀 洋一(地域文化学科准教授)	学校法人大多和学園 開星中学校・高等学校	「公開教育研究会」研究授業における指導助言	令和5年10月19日
29	小林 美沙子(保育学科准教授)	島根県立松江農林高等学校	1年生14名 学部・学科説明(保育学科中心に)	令和5年10月31日
30	高橋 泰道(保育教育学科教授) 古賀 洋一(地域文化学科准教授) 中野 洋平(地域文化学科准教授)	学校法人大多和学園 開星中学校・高等学校	「高3課題研究文理合同発表会」において指導助言	令和5年10月31日
31	小林 美佐子(保育学科准教授)	島根県立出雲高等学校	令和5年度課題研究活動 講師 1年 プロフェッショナルセミナー【前期】	令和5年11月9日、 令和5年12月7日
32	おはなしレストランライブラリー司書	高大連携推進員	企画「県大生と絵本を楽しもう」高校生に大学生が手遊び、絵本の読み聞かせの方法などのレクチャー。読み聞かせ実演	令和5年11月10日
33	マユアキ(地域文化学科教授)	高大連携推進員	企画:国際×〇〇～自分の切り口はなんだろう?～「英語力ゼロから始める国際協力」 国際系の進路を希望する高校生に向けてのトークを実施	令和5年11月13日
34	渡辺 一弘(保育学科教授)	島根県立大東高等学校	1・2年生31名来校。 学生との交流、施設見学、模擬講義、学食体験	令和5年11月14日
35	今井 靖(高大連携担当学長補佐)学務課職員	島根県立隠岐島前高等学校	普通科1年生12名 学部・学科説明、施設見学、学食体験、学生との交流	令和5年11月16日
36	矢島 毅昌(保育教育学科准教授) 日高 正樹(文化情報学科講師)	島根県立三刀屋高等学校	総合学科2年生53名 模擬講義、学部・学科説明、施設見学	令和5年11月16日
37	学務課職員	島根県立松江工業高等学校	情報技術科1年40名 学生との交流、施設見学	令和5年11月20日
38	木内 公一郎(地域文化学科教授) 床井 啓太郎(文化情報学科准教授)	高大連携推進員	企画「県大生と新しい学校図書館を考えよう」講師	令和5年12月8日、 令和5年12月15日
39	中谷 昌弘(保育学科准教授)	松江商業高等学校	松江商業高校女子サッカー部(1～2年16名)が松江キャンパスで実施する年少～年長、小1～小3の女児対象のマジカルフィールドに参加し、学生とともに子どもへの指導を実施	令和5年12月9日
40	今井 靖(高大連携担当学長補佐)学務課職員	松江西高等学校	2年生36名 学部・学科説明、施設見学	令和5年12月12日
41	おはなしレストランライブラリー司書	高大連携推進員	企画「県大生と絵本を楽しもう」高校生に大学生が手遊び、絵本の読み聞かせの方法などのレクチャー。交流会など実施	令和5年12月23日
42	梶間 奈保(保育教育学科准教授)	島根県立松江養護学校 (乃木校舎)	学生による書道パフォーマンスを通しての交流	令和6年1月12日
43	今井 靖(高大連携担当学長補佐)連携交流課職員	松江市立皆美が丘女子高等学校	2年生32名 出雲キャンパス(7)と松江・浜田キャンパス(25)に分かれて学部・学科説明、大学生活説明・質問回答	令和6年1月19日
44	日高 正樹(文化情報学科講師)	高大連携推進員	企画:人の話を引き出す極意を学ぼう!～インタビュー講座～	令和6年1月26日
45	西村 健一(保育教育学科教授)	島根県立大東高等学校	大東高校生徒と学生が協力し、特別支援学級に通う小学生約20名が参加する企画を実施	令和6年1月28日
46	高橋 泰道(保育教育学科教授) 古賀 洋一(地域文化学科准教授) 中野 洋平(地域文化学科准教授)	学校法人大多和学園 開星中学校・高等学校	令和5年度探究型授業校内発表会 指導助言	令和6年1月30日
47	高須 佳奈(地域文化学科准教授) 今井 靖(高大連携担当学長補佐)	一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム	しまね探究フェスタ(島根県教育委員会主催)において発表高校生に対する指導・助言	令和6年2月5日
48	今井 靖(高大連携担当学長補佐)	島根県立出雲高等学校	スーパーサイエンスハイスクール研究成果発表会	令和6年2月7日
49	おはなしレストランライブラリー司書	島根県立遼摩高等学校	2年生3名(生活系保育モデル) おはなしレストランの見学、絵本の選び方や読み聞かせの指導、実演	令和6年2月8日
50	高須 佳奈(地域文化学科准教授)	島根県立三刀屋高等学校	「総合的な探究の時間」に関する教職員研修、1・2年生を対象とした探究アワード指導・助言	令和6年2月19日
51	おはなしレストランライブラリー司書他	高大連携推進員	企画:幼児教育を学ぶ大学生は何をしているの?～大学生に聴いてみよう～絵本の読み聞かせ講座・特別支援教育に関する講座(ひまわりサークル)・共生社会に関する講座(島根発信隊)	令和6年3月6日
52	高須 佳奈(地域文化学科准教授)	島根県立出雲商業高等学校	令和5年度出雲ミライラボ講師 商業科・情報処理科1・2年生300名参加	令和6年3月13日
53	高須 佳奈(地域文化学科准教授)	島根県立松江東高等学校	令和5年度第3回学校運営協議会兼「松江東高等学校魅力化コンソーシアム」第3回役員会	令和6年3月14日
54	山根 繁樹(文化情報学科教授)	島根県立出雲高等学校	令和5年度課題研究活動 講師 1年 プロフェッショナルセミナー【後期】	令和6年3月15日
55	岩本 晃典(地域文化学科助教)	高大連携推進員	企画:地域探求フィールドワーク「古民家ゲストハウスを拠点に“楽しく”街を観光しよう!!」	令和6年3月25日
56	学生	島根県立松江東高等学校	1年生「地域共創トークフォークダンスin東高」 高校生と大人がペアを組み、相手を変えながら自由に対話する。	令和6年3月15日
57	おはなしレストランライブラリー司書	島根県立松江緑が丘養護学校 (中学部)	学生名がおはなしレストランライブラリーの見学、読み聞かせを実施。	令和5年10月18日
58	高橋 泰道(保育教育学科教授)	松江市立乃木小学校	松江市学力育成事業公開授業5年理科授業における指導助言	令和5年12月1日
59	高橋 泰道(保育教育学科教授)	松江市立忌部小学校	小学校6年理科プログラミング出前授業 講師	令和6年2月3日
60	ラング クリス(地域文化学科准教授)	松江市立乃木小学校	「Kids'English」履修学生が、1年生から6年生まで各クラスで英語の本の読み聞かせを行った	令和5年11月～ 令和6年1月

授業における連携 (ゲストスピーカー、非常勤講師、見学先等)

学科	授業名	授業担当者名	連携機関、見学先等
保育教育	表現研究(児童文化)Ⅰ	矢島毅昌准教授/福井一尊教授	NPO法人あしぶえ
	言葉研究(読み聞かせ実践)	中井悠加准教授	松江市立幼保園のぎ/松江市立乃木小学校
	保育教育職現場体験活動Ⅰ・Ⅱ	西村健一教授/梶間奈保准教授	島根県立松江養護学校/島根県立出雲養護学校/松江市立乃木小学校/松江市立忌部小学校/松江市立幼保園のぎ/松江市立しんじ幼保園/島根大学教育学部附属幼稚園/島根県中央児童相談所
	保育内容・音楽表現の指導法Ⅰ	梶間奈保准教授	松江市子育て部子育て政策課安心子育て推進室 秦昌子氏
	キャリアプランニング	保育教育学科教員	松江市役所/島根トヨタグループ/株式会社イーウェル/株式会社島根人材育成/株式会社DISCO/ジョブカフェしまね/ハローワーク
	社会的養護Ⅱ	藤原映久教授	松江地区里親会
	肢体不自由児指導論	西村健一教授	リコージャパン株式会社松江事業所/NPO法人MeRISE
	障害児保育	西村健一教授	松江市子育て支援センター・トレンド
	視覚障害児教育総論	内山仁志准教授	島根県立盲学校
	初等体育科教育法	保育学科 梶谷朱美教授	元 島根県小学校体育連盟理事長(元 島根県公立小学校教諭) 手島勇人氏
地域文化	Kids' English	ラング・クリス准教授	松江市立乃木小学校
	多文化共生論	塩谷もも教授/三成清香准教授	島根県 JICA デスク (JICA 青年海外協力隊)/松江市役所、国際交流員/島根モスク・イスラム文化センター/しまね国際センター/松江西高等学校/島根県外国人地域センター 出雲市
	観光と地域	岩本晃典助教	松江市美保関町(松江観光協会美保関町支部、美保神社、美保館本館、青石畳通り)/山崎美沙氏、作野達彦氏(松江市役所)/Ethen O'Brien 氏、Nicholas McCullough 氏(松江市国際交流員)
	教職実践演習	古賀洋一准教授	私立開星中学・高等学校/島根県立松江商業高等学校
	国語科教育法Ⅳ	古賀洋一准教授	島根大学教育学部附属義務教育学校
	山陰地域の民俗文化	中野洋平准教授	飯南町民俗資料館
	観光文化論	小長谷悠紀教授	公益財団法人松江市観光振興公社
	地域文化プロジェクトⅠ (国際文化/国際関係研究室)	赤坂一念教授	広島平和記念資料館/平和記念公園/原爆ドーム/ひろしま美術館/厳島神社/倉敷美観地区/大原美術館/島根県立古代出雲歴史博物館/大森銀山重要伝統的建造物群保存地区/温泉津重要伝統的建造物群保存地区/天領江津本町藁街道/かわもと あそラボ(川本町)/石見銀山まちを楽しくするライブラリー/浜田市まちなか交流プラザ(はまだ未来アトリエ)/パレットごうつ(江津ひと・まちプラザ)/島根県建築士会江津支部/斎藤裕子氏(建築家)/北田英治氏(写真家)/旧江津市庁舎/江津市市場産業振興センター/香木の森(邑南町)
	地域文化プロジェクトⅠ・Ⅱ (日本史ゼミ)	杉岳志准教授	清水寺/島根県立古代出雲歴史博物館
	地域文化プロジェクトⅠ・Ⅱ (国語教育学ゼミ)	古賀洋一准教授	鹿児島大学教育学部附属小学校/鳥取県立鳥取東高等学校/広島大学附属中・高等学校/松江市立湖南中学校/松江市立義務教育学校玉湯学園/島根大学教育学部附属義務教育学校/私立開星中学・高等学校
	地域文化プロジェクトⅠ・Ⅱ (古典文学ゼミ)	山村桃子准教授	小見波康秀(Matsue-Works)、高嶋敏展、小林泰三(小林工房)、尾方豊(可部屋集成館)、稲田神社、稲田自治会、八重垣神社
	地域文化プロジェクトⅠ・Ⅱ (民俗学ゼミ)	中野洋平准教授	海士町教育委員会/飯南町教育委員会/松江市教育委員会/島根県古代文化センター/美保関歴史・生活体験活動推進協議会/松江市島根町のみなさま

地域文化	地域文化プロジェクトⅡ (図書館情報学研究室)	木内公一郎教授	境港市民図書館／松江市立中央図書館／ヤングアダルトサービス(中学高校生向けサービス)改善に関する共同研究(松江市立中央図書館)／高大連携プログラム「県大生と新しい学校図書館を考えよう」(島根県立松江東高等学校、島根県立松江北高等学校、島根県立安来高等学校、島根県立平田高等学校、島根県立大東高等学校、島根県立出雲高等学校、島根県立浜田高校)
	地域文化プロジェクトⅠⅡ (地域デザイン研究室)	高須佳奈准教授	安来市役所／やすぎ回顧館一風亭・有限会社やすぎ千軒／安来市 島田自主防災組織会／安来市 錦町自主防災隊／安来市 東比田地区自主防災組織／安来市 上荒島自主防災組織／安来市 自主防災ひろせ／安来市 社日交流センター／安来市 新町自主防災組織／島根県教育委員会／島根県立松江東高等学校／島根県立松江北高等学校／島根県立大東高等学校
	地域文化プロジェクトⅠⅡ (観光地デザイン研究室)	小長谷悠紀教授	大田市役所/社会福祉法人みずうみ／島根大学／高知観光ネットワーク
	地域文化プロジェクトⅠ (観光創造研究室)	岩本晃典助教	小役丸秀一氏(株式会社 グラノ 24K 代表)／IMAGINE. COFFEE／Green's Baby／美保館／松江市役所
	キャリアデザインⅠ	高須佳奈准教授	株式会社パソナ／株式会社テックアイエス／株式会社共立エンジニア／浅利観光株式会社／trenta／ハルサ株式会社／モルツウエル株式会社／有限会社ポイントアンドライン／ご縁かめたか株式会社／Office Sou／安来市役所／島根県庁／ふるさと島根定住財団／島根県立江津高等学校
地域文化 保育教育	キャリアデザインⅡ	高須佳奈准教授	しまね産学官人材育成コンソーシアム／株式会社マイナビ／島根スサノオマジック
地域文化	就業体験 A・B	高須佳奈准教授	ジョブカフェしまね／各種県内就業体験受け入れ先事業所
保育	保育者論	渡辺一弘教授	おはなしレストランライブラリー：内田絢子司書、尾崎智子司書
	保育者論	渡辺一弘教授	ゲストスピーカー：大阪健康福祉短大増原真緒講師
	幼児と環境	小林美沙子准教授	島根県立松江農林高等学校：曾田教諭
	卒業研究 保育基礎ゼミナール	小林美沙子准教授	松江市立幼稚園のぎ
	卒業研究	梶谷朱美教授	松江市立幼稚園のぎ／山陰中央テレビジョン放送株式会社・株式会社メディアスコープ・株式会社こころプラス
	保育教職実践演習	渡辺一弘教授／梶谷朱美教授／渡邊寛智准教授／小林美沙子准教授	講話：雲南市立斐伊保育所 齊間久美所長
文化情報	就業体験	文化情報学科教員	ジョブカフェしまね
	へるん探求	小泉凡本学名誉教授／松浦雄二教授 (地域文化学科)	出雲大社／日御碕神社／日御碕／一畑薬師／木の根神社(大山町)／妙元寺(大山町)／旧中井旅館、花見湯墓地(琴浦町)／滝山神社[幽霊滝](日野町)
	しまね文化情報研修計画 ／しまね文化情報研修	日高正樹講師／山根繁樹教授	平田一式飾り保存会／平田高校／雲州ひらた太鼓／加藤醤油有限会社／持田醤油店／岡茂一郎商店／河下盆踊り保存会／平田まつり実行委員会／NPO法人ひらた空き家再生舎／猪日神楽保存会
	文化情報誌制作	山根繁樹教授／日高正樹講師／小倉佳代子非常勤講師	小泉八雲記念館／島根県立美術館／乃木こども食堂／喫茶ダンボール／平田高校／出雲 SPICE LAB／ヨコバマCafe／出雲観光協会／大社コミュニティセンター／出雲国ジオガイドの会／川跡コミュニティセンター／松江地区里親会／島根県中央児童相談所／GLOBARC／PEP／BHAVAN／HOME SWEET HOME
	文化情報ゼミナールⅡ	文化情報学科教員	平田高校／法政大学／松江市役所／出雲市役所／島根大学法文学部
保育 文化情報	キャリア・プランニング	保育学科教員／文化情報学科教員	しまね女性センター／企業警備保障株式会社／株式会社島根銀行／株式会社島根情報処理センター／島根ナカバヤシ株式会社／株式会社みしまや／松江市役所／島根トヨタグループ／株式会社イーウェル／株式会社島根人材育成／株式会社DISCO／ジョブカフェしまね／島根県中小企業家同友会／ハローワーク

地域志向研究活動一覽 (令和元年度～令和5年度)

学科	申請(開始)年度	終了年度/継続中	研究タイトル<研究年度> ▶研究助成等	学内研究者名(役職名はR5年度現在) 連携研究者(機関・協力者等)
保育教育学科	R3	～	益田市版幼小接続カリキュラムを活用した幼小接続の取組 ▶益田市と島根県立大学の共同研究事業	高橋泰道教授/矢島毅昌准教授 益田市教育委員会
	R4	R4	学校での体験活動とこころの成長-魅力ある学級づくりのために- ▶益田市と島根県立大学の共同研究事業	川中淳子教授 益田市教育委員会
	R1	～	児童養護施設を対象とした継続的な研修の実施 ▶教員個人研究費	藤原映久教授 島根県(浜田児童相談所)/児童養護施設 聖喙寮
	H29	～	里親向け養育支援研修会に関する実践研究 ▶学術教育研究特別助成金(個人研究) ▶教員個人研究費	藤原映久教授 島根県(中央児童相談所)/松江地区里親会
	H27	～	児童養護施設職員向け養育支援プログラムの開発と実施 ▶学術教育研究特別助成金研究(個人研究) ▶教員個人研究費	藤原映久教授 島根県(中央児童相談所)/児童養護施設安来学園
	H30	R1	放課後等デイサービスを利用する子どもたちの状況とニーズに関する調査 ▶教員個人研究費	藤原映久教授 松江市内の放課後等デイサービス
	R4	～	「ひまわりネットの会(松江赤十字乳児院が主催する里親・里子の交流会)への参画を通じた里親・里子支援活動 ▶教員個人研究費	藤原映久教授 松江赤十字乳児院
	R3	～	「ひらがな読み早期改善プログラム事業」 ▶受託研究	内山仁志准教授 出雲市教育委員会
	R2	～	「小学校1年生の文字を読む力を育むための取組～読字困難児の発見とアセスメントに応じた音読指導～」 「デジタル教材を活用した音読支援」 ▶しまね地域国際研究、科学研究費補助金(基盤C)	内山仁志准教授 益田市教育委員会
	R2	～	テレプレゼンスロボットによる特別支援教育力向上の取り組み ～島根県立大学×益田市プロジェクト～ ▶北東アジア地域学術交流研究助成金	西村健一教授 益田市教育委員会/NTTドコモ/RICOH/読書工房
	H30	～	柔道の道場に在籍する「特別な配慮を要する児童生徒(発達障害等を含む)」の実態と支援に関する調査 ▶教員個人研究費	西村健一教授
R1	R1	ICTを活用した特別支援教育力向上の取り組み ～島根県立大学×隠岐(OKI)の島プロジェクト～ ▶北東アジア地域学術交流研究助成金	西村健一教授 隠岐の島町教育委員会/沖ワークウェル	
地域文化学科	H29	～	江津市庁舎プロジェクト ▶教員個人研究費・学内外の関係者との共同研究	赤坂一念教授 島根県建築士会江津支部、八田典子教授、齋藤裕子氏(建築家)ほか
	R3	～	「浜田駅周辺に自習・交流スペースを」プロジェクト ▶教員個人研究費・地域貢献推進奨励金	赤坂一念教授 島根県立浜田高等学校、浜田市教育委員会、かわもと あそらぼ ほか
	R4	～	近代島根歌壇の研究—恒藤恭の短歌関連資料と山陰『明星』歌人資料を活用して— ▶科学研究費補助金・基盤研究C	山村桃子准教授 奥野久美子(大阪市立大学文学部准教授)、岩田英作教授、寺本喜徳(島根県立女子短期大学名誉教授)、北井由香(松江キャンパス図書館)ほか
	R3	～	〈山陰『明星』歌人資料〉デジタルアーカイブ作成と公開及びその研究 ▶学長裁量経費(若手支援枠)	山村桃子准教授 同上
	H27	～	島根県における神話・伝説の研究 ▶教員個人研究費	山村桃子准教授
	R2	R4	学校司書との「高次の協働」を通じた国語科教師の学び ▶科学研究費補助金・若手研究	古賀洋一准教授 開星中学・高等学校
	R5	～	情報活用能力を育成する教科横断型カリキュラムの構築過程に関する研究 ▶科学研究費補助金・若手研究	古賀洋一准教授 開星中学・高等学校、安来市立第二中学校
	R1	～	山陰の絆に関する研究 ▶教員個人研究費	塩谷もも教授
	R5	～	宍道湖・中海周辺地域における村堂の民俗に関する基礎研究 ▶島根半島・宍道湖中海ジオパーク学術研究奨励事業補助金	中野洋平准教授 島根半島・宍道湖中海(国引き)ジオパーク推進協議会
	R4	～	島根県の祭礼行事・民俗芸能の調査研究 ▶島根県古代文化センター祭礼行事調査事業	中野洋平准教授 島根県古代文化センター

	R1	R2	島根半島における当屋交代儀礼(ヨメノイ神事)の研究 ▶ 教員個人研究費	中野洋平准教授 公益財団法人いづも財団
	R1	R2	松江市島根町における伝承地名に関する研究 ▶ 受託研究	中野洋平准教授 島根地域まちづくり協議会
	R1	R1	海士町における民具の保存と利活用に関する研究 ▶ しまね地域研究センタープロジェクト研究助成金	中野洋平准教授 海士町教育委員会
	R1	R4	出雲神楽の研究 ▶ 島根県古代文化センターテーマ研究	中野洋平准教授 島根県古代文化センター
	R1	R1	松江市学校図書館政策の形成過程 ▶ 学長裁量経費(若手支援枠)	木内公一郎教授 石井大輔准教授(R2.3退職)
	R3	～	さんそ学習館ケイオスにおける科学コミュニケーション活動と社員研修に関する教材開発 ▶ 共同研究	高須佳奈准教授 さんそ財団(山陰酸素工業株式会社)
	R4	～	産官学が連携した高大連携事業「未来アトリエ」のプログラム・教材開発 ▶ 島根を創る人づくり事業	高須佳奈准教授 安来市役所、島根県立安来高等学校、島根県立情報科学高校
	R5	～	長期実践型キャリア教育プログラムの開発およびその実践を通じた学生教育と受け入れ組織内人材育成に関する研究 ▶ しまね産学官人材育成コンソーシアム、各連携先事業費	高須佳奈准教授 島根電工株式会社、NPO法人てごねっと石見、カナツ技建工業株式会社、トップ金属工業株式会社、株式会社ジュンテンドー、安来市役所
	R5	～	ソーシャルメディア活用における企業公式アカウントの運営改善と効果の可視化に関する研究 ▶ しまね産学官人材育成コンソーシアム	高須佳奈准教授 島根電工株式会社
	R5	～	安来市における地域自主防災組織に関する研究 ▶ 教員個人研究費	高須佳奈准教授 安来市役所および安来市内地域自主防災組織
	R5	～	指定管理者制度と組織間コントロールに関する研究 ▶ 教員個人研究費	高須佳奈准教授 安来市役所および有限会社やすぎ千軒
	R5	～	高等学校「総合的な探究の時間」に関する教職課程および教員研修等の研究 ▶ 教員個人研究費	高須佳奈准教授
	R5	～	地域人材を活用した大学キャリア教育及び教職課程「進路指導」に関する研究 ▶ 教員個人研究費	高須佳奈准教授
保育学科	R2	～	学生の主体的な学びの形成に資する保育者養成プログラムの構築	梶谷朱美教授/渡邊寛智准教授/小林美沙子准教授
	R1	～	学生の主体的な学びの形成に資する保育者養成プログラムの構築	梶谷朱美教授/渡邊寛智准教授/小林美沙子准教授/小山優子教授(保育教育学科)
	H30	～	学生の主体的な学びの形成に資する保育者養成プログラムの構築 ▶ 学術教育研究特別助成金(共同研究)	梶谷朱美教授/渡邊寛智准教授/小山優子教授(保育教育学科)/中井悠加准教授(保育教育学科)
	R2	～	保育者の資質向上のための研修プログラムの開発 一学生と保育者のための運動遊びハンドブックの事例を活用して一 ▶ 学術教育研究特別助成金(個人研究)	梶谷朱美教授 雲南市教育委員会/雲南市子ども政策局/雲南市身体教育医学研究所うんなん/雲南市内18幼稚園・保育所(園)・認定こども園/雲南市子ども政策局子ども政策課 藤原洋子/雲南市身体教育医学研究所うんなん 西川喜久子/のぞみ保育設計研究所長 野津道代
	H30	～	運動遊びにおけるプレーリーダーとしての保育者の役割についての研究 ～雲南市立幼稚園・保育所(園)・認定こども園の実践を中心として～ ▶ 学術教育研究特別助成金(個人研究)	梶谷朱美教授 雲南市立寺領幼稚園
	R1	～	幼稚園と小学校との円滑な接続のあり方に関する研究 ▶ 教員個人研究費	梶谷朱美教授 雲南市立寺領幼稚園
	H30	～	中学校保健体育教員を対象にしたダンス指導の研修プログラム開発～ 教材理解の促進に焦点をあてて～ ▶ スポーツ庁武道等指導充実・資質向上支援事業	梶谷朱美教授 島根大学教授 廣兼志保/島根県教育庁保健体育課指導主事 吾郷修治
	R3	～	幼児期の体力・運動能力調査の方法と活用に関する研究 ▶ 島根を創る人づくり事業	梶谷朱美教授 山陰中央テレビジョン放送株式会社/株式会社メディアスコープ/株式会社こころプラス
	R5		日本民謡「石見銀山巻上げ節」の記録・保存・普及活動に係る研究 ▶ 教員個人研究費	梶谷朱美教授 島根県フォークダンス連盟・全日本民謡指導者連盟島根県支部・大田市教育委員会・石見銀山資料館・大森町町並み交流センター
	R3	～	小学校体育科表現リズム遊び・表現運動領域指導力向上に係る研究 ▶ スポーツ庁令和の日本型学校体育構築支援事業	梶谷朱美教授 益田市教育研究会保健体育部会(小学校)

地域連携（貢献）活動の取組状況

- 講演会講師等（研修指導含む）
- 審議会委員等
- その他の活動

学科	No	教員名	区分	依頼先	内容（テーマ等）	
保育教育学科	1	齊藤 一弥（教授）	講師	大田市教育委員会	大田市の学力育成に向けた、能力ベースの授業づくりについての研修会講師（大田市立小・中学校等）	
	2			雲南市教育委員会	雲南市教職員を対象とする算数・数学科の授業づくりへの指導助言と講演会講師	
	3			江津市立郷田小学校	小学校教員を対象とした講演会の講師	
	4			島根県教育センター	県内小学校、中学校、特別支援学校の教諭を対象とした小学校算数科教育講座の講師	
	5			津和野町立津和野小学校	授業づくり・学校経営研修会講師（津和野町小中学校研修を兼ねる）	
	6			委員	松江市教育委員会	松江市学力育成協議会委員
	7				津和野町教育委員会	津和野町架け橋期のカリキュラム開発会議委員
	8	川中 淳子（教授）	委員	島根県教育委員会	島根県総合教育審議会委員	
	9	高橋 泰道（教授）	講師	松江市教育研究会生活科部	小学校教員を対象とした生活科に関する研修会の講師	
	10			松江市教育委員会	松江市学力育成協議会 成果報告会 指導助言	
	11			松江市こども子育て部こども政策課	松江市保幼小連携研修会 指導助言	
	12			安来市教育研究会生活科部	部員を対象とした研修会の講師	
	13			益田市保育研究会	会員を対象とした環境部会の研修会講師	
	14			益田市教育委員会	保幼小連携協議会研修会講師	
	15			津和野町教育委員会	津和野町保小合同研修会 講師	
	16			島根県メディア教育研究会	第55回中国地方放送教育研究大会（島根大会）【兼島根県メディア教育研究大会（安来大会）】全体講師	
	17			しまね自然子育てネットワーク	しまね自然子育てフォーラム 対談モデレーター	
	18			大森町自治会協議会・大森小学校みらいプロジェクト	シンポジウム「ちいさな町の子育て・教育をまなぶ会」モデレーター	
	19			開星中学校・高等学校	「課題探究A文理合同発表会」「探究型授業発表会」における指導助言	
	20			委員	島根県メディア教育研究会	中国地方放送教育研究大会島根大会スーパーバイザー
	21				松江市幼児教育ビジョン検討委員会委員長	
	22				松江市	松江市学力育成協議会会長
	23				学校運営協議会委員（松江市立乃木小学校）	
	24				リーディングDX事業に係る玉湯学園の取組みに対するアドバイザー	
	25				雲南市教育委員会	雲南市立木次中学校整備検討委員会委員長
	26				津和野町教育委員会	津和野町架け橋期のカリキュラム開発会議委員
	27				津和野町教育ビジョン策定委員会委員長	
	28			藤原 映久（教授）	講師	児童養護施設 安来学園
	29	島根県（青少年家庭課）	児童相談所・市町村職員を対象とした研修会講師 「子ども家庭相談援助制度及び実施体制」			
	30	島根県（益田児童相談所）	令和5年度中国地区児童相談所職員研究協議会の基調講演講師、研究部会及び全体会議の助言者			
	31	西ノ島町役場	保育・教育関係機関職員を対象とした子どもの権利擁護研修会の講師			
	32	しまね子ども子育て支援ネットワーク つながるネット	市民を対象とした学習会の講師 「こども基本法」学習会			
	33	松江市保育研究会	松江市保育所(園)認定こども園の保育士等を対象としたキャリアアップ研修の講師 「保護者支援・子育て支援」			
	34	乃木地区社会福祉協議会	あったかスラム乃木を中心とする障がいに関わる支援者等のための講演会講師			
	35	松江市（子ども家庭支援課）	令和5年度児童虐待防止セミナー～児童虐待を防ぐためにできること～			
	36	保健福祉振興財団	令和5年度島根県子育て支援員研修会 社会的養護コース 「社会的養護の理解」「子どもの権利擁護、対象者の尊厳の遵守、職業倫理」「社会的養護を必要とする子どもの理解」			
	37	島根県（青少年家庭課）	令和5年度児童福祉司任用前講習会・任用簿研修（後期日程） 「子ども家庭支援のためのケースマネジメント」			
	38	委員	島根県社会福祉協議会			島根県保育士・保育所支援センター運営会議 委員
	39		松江市			要保護児童対策協議会スーパーバイザー(下記会議に12回程度参加) 代表者会議、実務者会議、課内研修
	40		松江市教育委員会			松江市専門巡回相談員
	41		社会福祉法人 つわぶき			評議員選任・解任委員
	42		島根県			里親委託促進等検討会議委員
	43		松江赤十字乳児院			松江赤十字乳児院サービス向上委員会委員
	44		その他			くらたこどもクリニック
	45	小山 優子（教授）	講師	社会福祉法人 島根県社会福祉協議会	令和5年度保育士等キャリアアップ研修 【幼児教育】「幼児教育の意義」「幼児教育の環境」「発達に応じた保育の内容」 「指導計画、記録および評価」（松江会場）講師	

学科	No	教員名	区分	依頼先	内容(テーマ等)
	46			松江市	令和5年度松江市立保育士基礎力向上研修「指導計画と実践・環境構成について」
	47		委員	島根県	島根県幼児教育推進会議委員長
	48		島根県	島根県子ども・子育て支援推進会議委員 島根県子ども・子育て支援推進会議幼保連携型認定こども園認可等審議部委員長	
	49			松江市	松江市保育所等施設整備審査委員会委員長
	50			松江市	松江市公の施設指定管理者選定審議会委員長
	51			雲南市	雲南市立保育所保育業務委託事業者選考委員会委員長
	52			大田市	大田市子ども・子育て支援推進会議会長
	53		福井 一尊(教授)	講師	島根県保育所(園)・幼稚園造形教育研究会
	54			島根県教育センター浜田教育センター	研修会の講師
	55			益田市保育研究会	会員を対象とした造形部会研修会の講師
	56		委員	島根県保育所(園)・幼稚園造形教育研究会審査委員会	審査委員長
	57			島根県	景観審議会 委員
	58			島根県障がい者文化芸術活動推進連絡協議会	委員
	59			益田市	益田市子ども子育て会議 委員
	60			松江市保育研究会	松江市保育研究会 顧問
	61			島根県立松江ろう学校	学校運営協議会 委員
	62			島根県障がい者文化芸術活動支援センター	島根県障がい者アート作品展実行委員会 委員
	63				島根県障がい者アート作品展 審査委員長
	64	西村 健一(教授)	講師	島根県立大東高等学校	高校2年生を対象とした総合的な探究の時間の講師
	65			社会福祉法人愛耕福祉会	職員を対象とした「発達障がい児への対応」講演会の講師
	66			松江市こども子育て部	子育て中の保護者、子育て支援者等を対象とする子育て学習会講師
	67			松江市子ども家庭支援課	発達相談についての助言指導(個別相談・ペアレントミーティング)
	68			益田市保育研究会	会員を対象とした特別支援部会の研修会講師
69			第69回全国肢体不自由教育研究協議会	島根大会記念講演の講師	
70			中四国地区病弱虚弱教育連盟事務局	第45回中国四国地区病弱虚弱教育研究連盟研究協議会並びに総会島根県大会 第四分科会の講演	
71			松江市立やくも幼保園	職員を対象とした園内研究会の講師	
72			雲南市民生児童委員協議会	雲南市民生委員、児童委員を対象とした講演会の講師	
73			社会福祉法人十神 やすぎこども園	園児の発達を促す運動についての指導講師	
74			島根県障害者スポーツ協会	島根県パラスポーツ指導員養成研修会の講師「スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質」	
75		委員	島根県立出雲養護学校	いずよう魅力化協議会(学校運営協議会)の委員	
76	内山 仁志(准教授)	講師	島根県教育委員会	通級による指導担当教員を対象とした研修会の講師	
77			出雲市教育委員会	特別支援教育講座Ⅰ及びデコーディング研修Ⅰ・Ⅱの講師	
78			島根県立益田高等学校	読み書きに困難さのある生徒への支援方法についての研修講師	
79			島根県西部発達障害者支援センターウィンド	支援者を対象とした学習障がい研修の講師	
80			島根県東部発達障害者支援センターウィッシュ	LDの支援を学ぶセミナーの講師	
81			古志原地区社会福祉協議会	住民を対象とした子育て支援講演会の講師	
82			とよかわSE塾	研修会の講師	
83	前林 英貴(准教授)	講師	社会福祉法人 島根県社会福祉協議会	令和5年度保育士等キャリアアップ研修【保健衛生・安全対策】講師「保健計画の作成と活用」「事故防止および健康安全管理」「保育の場における事故防止および対応のためのガイドライン」「保育所における感染症対策ガイドライン」「保育の場における血液を介した感染予防」	
84			島根県(青少年家庭課)	児童相談所・市町村を対象とする研修会の講師「子どもの成長・発達と生育環境」	
85			松江市こども子育て部	子育て中の保護者、子育て支援者等を対象とする子育て学習会講師	
86			島根県医療的ケア児支援センター	R5年度島根県医療的ケア児等コーディネーター養成研修講師	
87			開星中学校・高等学校	探求型授業「課題研究A」の指導助言	
88			社会福祉法人 島根県社会福祉協議会	令和5年度保育士就職・お仕事応援セミナー講師「環境づくりと応急手当」	
89		委員	島根県立松江緑が丘養護学校	松江緑が丘養護 学校運営協議会委員	
90	矢島 毅昌(准教授)	講師	社会福祉法人 島根県社会福祉協議会	令和5年度保育士等キャリアアップ研修【幼児教育】「幼児教育の意義」「幼児教育の環境」「発達に応じた保育の内容」「指導計画、記録および評価」(浜田会場)講師【新任保育士向け保育実践】講師	
91			島根県立三刀屋高等学校	学校訪問におけるミニ講義	
92			島根県立平田高等学校	平田高校2年生を対象とした「地域協働学習」の講師	

学科	No	教員名	区分	依頼先	内容(テーマ等)	
地域文化学科	93	水内 豊和(准教授)	講師	島根県立松江養護学校	高等部研修会の講師	
	94	岩田 英作(教授)	委員	松江市	松江市総合計画審議会委員	
	95			出雲市	出雲市立図書館協議会委員	
	96	赤坂 一念(教授)	委員	島根県教育委員会	学校運営協議会委員(島根県立平田高等学校)	
	97				石見オロチCOREハイスクールネットワーク構想 事業評価委員	
	98				島根県立出雲高等学校スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会の委員	
	99				江津市 都市計画課	江津市都市計画審議会の会長
	100				江津市 総務課	江津市情報公開・個人情報保護審査会の会長
	101				浜田市教育委員会	HAMADA教育魅力化コンソーシアム役員会の役員
	102				邑南町 地域みらい課	矢上高校と地域の未来をつくる会(コンソシアム)役員会のアドバイザー
	103				島根県立石見養護学校	学校運営協議会の委員
	104	県立学校GO▶GOTSUコンソシアム	江津市の教育魅力化推進事業における協議体 県立学校GO▶GOTSUコンソシアムの役員			
	105	社会福祉法人恩賜財団済生会	済生会島根県支部の理事			
	106	社会福祉法人いわみ福祉会	評議員			
	107	松浦 雄二(教授)	委員	飯南町	個人情報保護審査会、情報公開審査会、行政不服審査会の委員	
	108			奥出雲町	個人情報保護審査会、個人情報保護審議会、情報公開審査会の委員	
	109	マユー あぎ(教授)	講師	島根県教育庁 教育指導課	高校生を対象とした「キャリア講演会」ファシリテーター	
	110			委員	島根県	情報公開・個人情報保護審査会の委員
	111			公益財団法人島根県育英会	島根県育英会の理事	
	112			島根県教育委員会	学校運営協議会委員(島根県立松江南高等学校)	
	113	塩谷 もも(教授)	委員	公益財団法人しまね国際センター	「世界とつながる島根づくり助成金」運営委員	
	114			松江市	松江市行財政改革推進委員会委員	
	115	木内 公一郎(教授)	講師	島根県教育庁 教育指導課	高校生を対象とした「司書プログラム」の講師	
	116			島根県高等学校教職員組合	司書部会夏期研修会の講師	
	117			委員	島根県	島根県立図書館協議会審議委員
	118	小長谷 悠紀(教授)	講師	雲南市	市民を対象とした雲南市「道の駅」シンポジウムのパネリスト	
	119			委員	雲南市	雲南市観光振興会議 委員
	120			一般社団法人松江ツーリズム研究会基金	松江ツーリズム研究会観光大賞の表彰者選考委員	
	121	杉 岳志(准教授)	委員	松江歴史館	松江歴史館運営協議会委員	
	122	中野 洋平(准教授)	講師	開星中学校・高等学校	探求型授業の指導助言	
	123			島根県立出雲高等学校	山陰探究サミットおよび探求型授業の指導・助言	
124	まつえ市民大学			まつえ市民大学ふるさと発見コース第11回講座 講師		
125	委員			島根県	島根県景観審議会審議委員	
126	まつえ市民大学			運営協議会委員		
127	山村 桃子(准教授)	講師	山陰中央新報社文化センター 出雲・松江教室	講座「源氏物語を読む」「紫式部日記を読む」の講師		
128			委員	島根県教育長文化財課	島根県古代文化センター企画運営委員会委員	
129	古賀 洋一(准教授)	講師	開星中学校・高等学校	公開教育研究会 研究授業における指導助言		
130			探求型授業「課題研究A」の指導助言			
131			高須 佳奈(准教授)	研修等講師	島根県立江津高等学校	「総合的な探究の時間」に関する教員研修
132	島根県立三刀屋高等学校	「総合的な探究の時間」に関する教職員研修				
133	一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム	しまね探究フェスタ発表高校生に対する指導・助言				
134	島根県立出雲商業高等学校	1・2年生を対象としたミライラボ指導・助言				
135	島根県立平田高等学校	2年生を対象とした「地域協働学習」の講師				
136	島根県立三刀屋高等学校	1・2年生を対象とした探究アワード指導・助言				
137	こうぎん文化振興財団	中高生を対象とした青少年教育活動「尚風館」講師				
138	委員	島根県	島根県雇用対策審議会委員、島根県雇用表彰委員会会長			
139	島根県教育庁	学校運営協議会委員(島根県立松江北高等学校)(島根県立出雲商業高等学校)				
140	中海・穴道湖・大山圏域市長会	中海・穴道湖・大山圏域市長会総合戦略推進委員				
141	松江市	松江市都市計画審議会委員				
142	安来市	安来市総合計画・総合戦略推進会議副委員長				
143	雲南市	雲南市スペシャルチャレンジ共創会議委員				
144	教育創生コンソーシアム島根中央	教育創生コンソーシアム島根中央外部評価委員				
145	その他	島根県立松江東高等学校	学校運営協議会および同校魅力化コンソーシアム役員会 助言			

学科	No	教員名	区分	依頼先	内容(テーマ等)	
	146	三成 清香(准教授)	講師	島根県高等学校文化連盟文芸専門部	県内高校の文芸部員を対象とした研修会の講師	
	147			島根県立平田高等学校	平田高校2年生を対象とした「地域協働学習」の講師	
	148		委員	松江市	「小泉八雲をよむ」感想文の審査	
		149	岩本 晃典(助教)	講師	島根県教育庁 教育指導課	高校生を対象とした「フィールドワーク講座」の講師
		150			島根県立平田高等学校	平田高校2年生を対象とした「地域協働学習」の講師
		151		島根県立南高等学校	「南校アクションデー アクション・クエスト2023」の指導・助言	
152		「RAP応用B(課題研究)発表会」の審査				
保育学科		153	梶谷 朱美(教授)	講演会講師等	島根県教育センター	島根県教育センター研修:第II回新規採用幼稚園教諭研修 保育技術1(運動遊び)講師
		154			出雲市立平田小学校	令和7年度第63回中・四国小学校体育研究大会会場校 表現運動授業の指導助言
	155	出雲市荘原保育園			保護者、職員を対象とした健康教室の講師	
	156	出雲市立荘原小学校			荘原小学校創立150周年記念のダンス創作と児童を対象とするダンス実技指導及び保護者、教職員、地域有識者を対象とした子育て講演会の講師	
	157	島根県			県教育庁保健体育課メディア専門家派遣事業 児童、生徒、保護者、教職員を対象とした健康教室の講師(出雲市立湖陵幼稚園・出雲市大塚保育園)	
	158				生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体表彰候補等の選考委員	
	159	島根県			島根県学校体育研究連合会ダンス研究部会講師・アドバイザー(理事会2/年、研究授業3回/年、実技研修会1回/年 第57回島根県学校ダンス指導者研修会講師)	
	160				西ノ島町役場	幼児とその保護者を対象とした西ノ島町子育て支援イベントの講師
	161	島根県幼稚園教育研究会			島根県国公立幼稚園・こども園教育研究大会会場園「大東こども園」指導講師・研究発表に向けての指導及び大会講師	
	162	島根県保育協議会			第64回島根県保育研究大会での「雲南保育協議会研究発表」における指導助言	
	163	島根県小学校体育連盟			第61回中・四国小学校体育研究大会表現運動分科会助言者「島根県邑智郡小体連体育授業実践発表の指導助言」	
	164	松江市小学校体育連盟			第18回松江市小学校表現運動発表会の指導講師(児童への講評と教員研修会)	
	165	益田市教育研究会・小学校体育連盟			令和7年度第63回中・四国小学校体育研究大会表現運動分科会助言者「島根県益田市体育授業実践発表の指導助言」	
	166	邑智郡小学校体育連盟			研究授業の助言(川本町立川本小学校・邑南町立口羽小学校)	
	167	雲南保育協議会			令和5年度雲南保育協議会保育を語る会講師	
	168	大田市立大田小学校			第6学年の総合的な学習における「石見銀山捲上げ節」の踊りの講師	
	169	雲南市木次町日登交流センター			令和5年度ひのぼり生繋塾生閉校式 日登魅力探求フォーラム「日登の教育・文化のソコチカラ」講師	
	170	雲南市立認定こども園 木次こども園			園内研修会及び雲南Cブロック研修会の指導講師	
	171	開星中学校・高等学校			校内研究授業の指導助言 保健体育科「ダンス」授業	
	172	委員			島根県	環境生活部スポーツ振興課 島根県スポーツ推進審議会副委員長
	173				島根県	教育庁社会教育課「結集!しまねの子育て協働プロジェクト」推進委員長
	174				島根県立松江農林高等学校	学校運営協議会委員・学校魅力化コンソーシアム委員
175	雲南市		身体教育医学研究所うなんん運営委員			
176	雲南市加茂B&G海洋センタープール「ラソソテ」運営委員長					
177	松江市教育委員会		学校運営協議会委員(松江市立湖南中学校)			
178	渡辺 一弘(教授)	講師	島根県立大東高等学校	模擬講義の講師		
179	宮下 裕一(教授)	委員	松江家庭裁判所	松江家庭裁判所委員会委員		
180			島根県立松江商業高等学校	学校運営協議会委員		
	181	小林 美沙子(准教授)	講師	社会福祉法人 島根県社会福祉協議会	令和5年度保育士就職・お仕事応援セミナー講師「保育制度の動向」	
	182			出雲市幼稚園教育研究会	令和5年度出雲市幼稚園教育研究会講演会の講師「子どもが主体的に遊ぶ保育環境を考える」	
	183			松江市保育研究会	第12回松江市保育研究大会(第8分科会/なかよし保育園)の指導助言及び園内研修の講師	
184	渡邊 寛智(准教授)	委員	NPO法人 松江音楽協会	第21回松江プラバ音楽コンクール 歌唱部門 中学校・高等学校の部 審査員		
185	中谷 昌弘(准教授)	講師	一般社団法人島根県サッカー協会	運動指導、インストラクター		
	186	藤 翔平(助教)	講師	島根県社会福祉協議会	令和5年度保育士就職・お仕事応援セミナーの講師「こどもの発達と保育」	
	187			島根県立松江南高等学校	「南校アクションデー アクション・クエスト2023」の指導・助言	
文化情報学科	188	床井 啓太郎(准教授)	講師	島根県 教育庁 教育指導課	高校生を対象とした「司書プログラム」の講師	
	189	倉橋 徹(准教授)	講師	島根県立松江南高等学校	コンピューター言語「Ruby」に関わる指導	
	190	日高 正樹(講師)	講師	島根県 教育庁 教育指導課	高校生向け講座「人の話を引き出す極意を学ぼう~インタビュー講座~」の講師	
	191	島根県立松江南高等学校	SSH教職員研修の講師			
	192		生徒発表会の指導・助言			
	193		学校訪問におけるミニ講義			
	194		島根県立平田高等学校	平田高校2年生を対象とした「地域協働学習」の講師		

令和5年度 実習実施施設・機関一覧

区分	所在地	施設・機関名	
保育所	松江市	松江市立城東保育所／松江市立意東保育園／松江市立幼保園のぎ／松江市立城西幼保園／しらゆり保育園／しらゆり第2保育園／みずうみ保育園／法吉保育所／みどり保育所／愛恵保育園／虹の子保育園／わかたけ保育園／こぼと保育園／乃木保育所／袖師保育所／みつき浜乃木保育園／なの花保育園のぎ／なの花保育園／ふたば第一こども園／ふたば第二こども園／ふたば第三こども園／ふたば第四こども園／錦新町保育園／シオンこひつじ保育園	
	出雲市	出雲市立中央保育所／ひまわり第1保育園／ひまわり第2保育園／出雲すみれ保育園／おおつか保育園／わたりはし保育園／なかの保育園／さとかた保育園／あすなる保育園／浜山保育園／神門第II保育園／ほくよう保育園／平田保育所／中部保育所／ひらた西保育園／こぐま保育園／あい川保育園／伊波野保育園／浜山あまつひ保育園	
	安来市	安来市立切川保育所／安来市立認定こども園広瀬／安来市立認定こども園母里／やすぎこども園	
	雲南市	雲南市立木次こども園／雲南市立大東保育園／雲南市立三刀屋保育所／雲南市立かもめ保育園／たちばら保育園／みなみかも保育園	
	大田市	サンチャイルド長久さわらび園	
	浜田市	みのり保育園	
	江津市	さくらこども園	
	益田市	雪舟保育所／緑ヶ丘保育所／まるに保育所	
	隠岐の島町	隠岐の島町立中村保育園／隠岐の島町立ごか保育園／隠岐の島町立下西保育所	
	米子市	米子市立ねむの木保育園／米子市立淀江どんぐりこども園／かいけわかば園／かいけ心正こども園／キッズタウンさくら／いづみ保育園	
	境港市	夕日ヶ丘保育園	
	倉吉市	どんぐりこども園	
	日吉津村	公立認定こども園ひえづこども園	
	三朝町	三朝町立みささこども園	
	南部町	南部町立つくし保育園	
	琴浦町	みどり保育園	
	児童福祉施設 (障害福祉サービス事業所を含む)	松江市	松江赤十字乳児院／島根東光学園／双樹学院／松江学園／東部島根医療福祉センター／国立病院機構松江医療センター／社会福祉法人つわぶぎ(児童発達支援センターやましる)／社会福祉法人つわぶぎ(児童発達支援センターのぎ)／島根県立わかたけ学園／しのめ寮／センターはばたき／さくらの家
		出雲市	児童心理療育センターみらい
		安来市	安来学園／櫻苑
浜田市		聖暉寮／こくぶ学園	
隠岐の島町		仁万の里	
米子市		米子聖園ベビーホーム／米子聖園天使園	
大山町		光徳子供学園	
幼稚園	松江市	松江市立母衣幼稚園／松江市立城北幼稚園／松江市立中央幼稚園／松江市立雑賀幼稚園／松江市立津田幼稚園／松江市立古志原幼稚園／松江市立川津幼稚園／松江市立朝酌幼稚園／松江市立忌部幼稚園／松江市立大庭幼稚園／松江市立持田幼稚園／松江市立古江幼稚園／松江市立たまゆ幼稚園／松江市立揖屋幼稚園／松江市立幼保園のぎ／松江市立城西幼稚園／松江市立やくも幼稚園／育英幼稚園／育英北幼稚園／松江暁の星幼稚園	
	出雲市	出雲市立今市幼稚園／出雲市立大津幼稚園／出雲市立塩冶幼稚園／出雲市立高松幼稚園／出雲市立長浜幼稚園／出雲市立古志幼稚園／出雲市立神門幼稚園／出雲市立川跡幼稚園／出雲市立高浜幼稚園／出雲市立鶯巣幼稚園／出雲市立荒木幼稚園／出雲市立遙垣幼稚園／出雲市立四絡幼稚園／出雲市立平田幼稚園／認定こども園光幼保園	
	雲南市	雲南市立寺領幼稚園／雲南市立西こども園	
	安来市	安来市立認定こども園荒島／あかえこども園	
	大田市	大田市立大田幼稚園	
	江津市	あさりこども園	
	浜田市	浜田市立長浜幼稚園	
	米子市	西部あおば幼稚園／みずほ幼稚園／認定こども園あけぼの幼稚園	
	境港市	学校法人美哉幼稚園	
	鳥取市	認定こども園鳥取第四幼稚園	
	琴浦町	琴浦町立こがねこども園	
	小学校	松江市	松江市立乃木小学校／松江市立忌部小学校／松江市立古志原小学校／松江市立中央小学校／松江市立川津小学校／松江市立古江小学校
		出雲市	出雲市立荒木小学校／出雲市立国富小学校
安来市		安来市立荒島小学校／安来市立島田小学校	
大田市		大田市立鳥井小学校	
奥出雲町		奥出雲町立布勢小学校	
川本町		川本町立川本小学校	
特別支援学校	松江市	島根県立松江養護学校／島根県立松江清心養護学校／島根県立松江緑が丘養護学校	
	出雲市	島根県立出雲養護学校	
	浜田市	島根県立浜田養護学校	
	益田市	島根県立益田養護学校	
	江津市	島根県立江津清和養護学校	
	隠岐の島町	島根県立隠岐養護学校	
中学校・高等学校	松江市	松江市立湖南中学校／松江市立第四中学校／松江市立宍道中学校／島根県立松江南高等学校／学校法人大多和学園開星中学・高等学校	
	浜田市	島根県立浜田高等学校	
	江津市	江津市立青陵中学校	
	奥出雲町	奥出雲町立横田中学校	
	飯南町	飯南町立赤来中学校	
	隠岐の島町	隠岐の島町立西郷南中学校	
	琴浦町	琴浦町立赤碕中学校	

令和5年度 教員紹介

学部	学科	教員名	職名	研究（学問）分野		
人間文化学部	保育教育学科	高橋 泰道	教授	理科教育・生活科・総合的な学習の時間		
		藤原 映久	教授	社会的養護・児童虐待・児童養護施設等への支援・里親支援		
		川中 淳子	教授	臨床心理学		
		小山 優子	教授	幼児教育学・保育学		
		齊藤 一弥	教授	数学教育学		
		時津 啓	教授	教育学		
		西村 健一	教授	特別支援教育		
		福井 一尊	教授	美術教育学		
		内山 仁志	准教授	小児神経学・脳機能画像学・視能矯正学		
		梶間 奈保	准教授	作曲・音楽教育・音楽認知心理学		
		中井 悠加	准教授	国語教育学・詩教育論・比較国語教育論		
		前林 英貴	准教授	小児保健学・小児看護学・地域保健学		
		水内 豊和	准教授	臨床発達心理学・特別支援教育・教育工学		
		矢島 毅昌	准教授	教育社会学		
	地域文化学科	岩田 英作	教授	日本近代文学・児童文学		
		高橋 純	教授	日本語文法・対照文法		
		赤坂 一念	教授	国際文化・国際関係		
		木内 公一郎	教授	図書館情報学		
		小長谷 悠紀	教授	観光文化・観光地デザイン		
		塩谷 もも	教授	文化人類学・東南アジア研究		
		田中 芳文	教授	英語学・社会言語学		
		松浦 雄二	教授	英文学		
		マユ あき	教授	英語学		
		古賀 洋一	准教授	国語教育学		
		杉 岳志	准教授	日本近世史・文化史		
		高須 佳奈	准教授	地域デザイン		
		中野 洋平	准教授	民俗学		
		三成 清香	准教授	比較文学・日本語教育		
		山村 桃子	准教授	日本上代文学		
		ラングクリス	准教授	英語教育学		
		岩本 晃典	助教	観光学・観光創造学		
		短期大学部	保育学科	梶谷 朱美	教授	体育教育学・舞踏教育学
				飯塚 由美	教授	心理学（社会心理学）
宮下 裕一	教授			社会福祉学		
渡辺 一弘	教授			幼児教育学・教育社会学（歴史社会学）		
小林 美沙子	准教授			保育学		
中谷 昌弘	准教授			生涯スポーツ		
渡邊 寛智	准教授			声楽、音楽教育、合唱、芸術実践論		
藤 翔平	助教			発達心理学		
文化情報学科	藤吉 知美		教授	アメリカ文学		
	山根 繁樹		教授	日本近代文学		
	加藤 暢恵		准教授	情報教育		
	倉橋 徹		准教授	地域情報学		
	床井 啓太郎		准教授	図書館情報学・書誌学		
	山村 仁朗		准教授	国語学・日本語学		
	渡部 周子		准教授	日本文化		
日高 正樹	講師	教育社会学・社会教育論				



島根県立大学
島根県立大学短期大学部
松江キャンパス

しまね地域共生センター

Shimane Center for Enrichment through Community, The University of Shimane Junior College

〒690-0044

島根県松江市浜乃木7-24-2

TEL 0852-28-8322

FAX 0852-20-0267

<http://matsuec.u-shimane.ac.jp>

R6年3月版